Rozetta Phrase 基本操作マニュアル

\sim Rozetta Phrase 編 \sim

Ver.06.0

2023年3月



© 2023 Rozetta Corp.

内容

はじ	めに3
1.	Rozetta Phrase 概要
	Rozetta Phrase の構成4
	ユーザータイプ4
2.	Rozetta Phrase 入門5
	ログイン
	ユーザーアカウント作成5
	ログイン情報をメールする8
	初期設定
3.	プロジェクト作成
	プロジェクト編集16
	プロジェクトテンプレート17
4.	ジョブ作成18
	複数翻訳者の指定19
	オンラインストレージから追加20
	ファイルインポートの設定20
5.	翻訳メモリ作成23
	ID 付きのエクセル TM インポート25
	アライン
	翻訳メモリのエクスポート27
6.	用語ベース作成
	用語と属性の新規追加
	上書きモード
	同義語の登録方法
7.	プロジェクト設定
	翻訳メモリ設定
	ワークフローステップ別の翻訳メモリ設定36
	用語ベース設定
8.	解析
	デフォルト
	ポストエディット
	比較41
	解析の実行
	一致率の定義

9.	一括翻訳	. 44
	空欄箇所を一括翻訳	. 44
	一括翻訳のベストプラクティス	. 46
	一括翻訳の実行	. 47
	疑似翻訳	. 47
	疑似翻訳の実行	. 48
	ロックとロック解除	. 50
10.	ファイル分割	. 51
	ファイル分割の実行	. 53
	翻訳者へメール送信	. 54
11.	翻訳作業の確認	. 56
	訳文完成ファイルダウンロード	. 56
	変更履歴をエクスポート	. 57
12.	高度なプロジェクト設定	. 58
	プロジェクト・ジョブ共有機能	. 58
	プロジェクトの自動作成	. 61
13.	付録	. 64
	QA チェック項目一覧	. 64
	サブミッターポータル	. 67
	プロジェクトのバックアップ	. 75
	オンラインストレージとの連携	. 75
	外部ツールとの連携	. 77
	2 段階認証	. 78

はじめに

Rozetta Phrase(ロゼッタ版フレーズ)は、ロゼッタが提供するプロ翻訳者レベルのAI翻訳エンジン「T-4OO」と超絶カスタマイズ AI 翻訳エンジン「T-3MT」を、世界標準の翻訳管理システム「Phrase TMS」 に統合したサービスです。高品質な機械翻訳 + ポストエディットを求めるエンドユーザーや翻訳会社向け に、株式会社ロゼッタが Phrase TMS の OEM 版として提供しています。

本マニュアルでは Rozetta Phrase の基本操作をご紹介しています。まずは別冊の『Rozetta Phrase 基本操作マニュアル~T-400 自動翻訳フロー編~』または『Rozetta Phrase 基本操作 マニュアル~T-3MT 自動翻訳フロー編~』を一読し、ログインから機械翻訳エンジンの設定、翻訳条件の指定、自動翻訳の実行、訳文ファイルのダウンロードにいたるまでの大まかな流れを把握してから、本マニュアルで詳細を確認することをお勧めします。

特に断りのない限り、本書では Rozetta Phrase のスタンダードエディションであるチーム版について説明 しています。本書の記載は、製品のバージョンアップなどの事情により、実際と異なる場合があります。

本マニュアルを読んでも問題が解決しない場合、ロゼッタのサポートチームに日本語または英語でお問い 合わせいただけます。ログイン後のサービス画面右下に表示されるヘルプウィジェットから、サポートをご 依頼ください。お問い合わせ先は Phrase 社ではなくロゼッタになります。

Rozetta Phrase サービスサイト:https://main.rozetta-phrase.jpRozetta Phrase ヘルプサイト:https://help.rozetta-phrase.jp

1. Rozetta Phrase 概要

Rozetta Phraseの概要をご紹介します。

■ Rozetta Phrase の構成

Rozetta Phrase は翻訳プロジェクトの管理を行う Rozetta Phrase と、翻訳作業を行う CAT Editor に分けられます。

Rozetta Phrase	プロジェクトマネージャー (PM) が、Rozetta Phrase の環境と翻	Web 版
(ロゼッタ版フレーズ)	訳プロジェクトに必要な以下の管理を行う環境です。	
	 プロジェクト(ジョブと呼ばれるファイルで構成) 	
	 翻訳メモリ(TM) 	
	 用語ベース(TB) 	
CAT Editor	翻訳者(Linguist)が実際に翻訳作業を行う環境。Web ブラウ	Web 版
(エディタ)	ザ上で利用可能な Web エディタ と、ローカル PC にインストールして	デスクトップ版
	使用する Desktop エディタがあります。ロゼッタ版フレーズに付属	
	するエディタと、フレーズ通常版に付属するエディタの間に機能的な	
	違いはありません。両者を合わせて「 エディタ 」と呼ぶことにします。	

基本操作マニュアルも、Rozetta Phrase 編(本書)と、CAT Editor 編に分かれています。

■ ユーザータイプ

Rozetta Phrase を利用するユーザーにはいくつかのタイプがあります。

- 管理者
- プロジェクトマネージャー
- ・ リンギスト (翻訳者)
- ゲスト
- サブミッター (Ultimate/Enterprise 版のみ)

2. Rozetta Phrase 入門

本書は管理者または PM 向けの入門ガイドです。翻訳者の方は別冊『Rozetta Phrase 基本操作マニ ュアル~CAT Editor 編~』をご覧ください。

■ ログイン

Rozetta Phrase ログインするには、<u>https://main.rozetta-phrase.jp</u> にアクセスします。ロ グインには、ユーザーアカウント名とパスワードが必要です。 推奨ブラウザ : Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Safariの最新のバージョン。

■ ユーザーアカウント作成

ご自身以外の PM と、Rozetta Phrase 上で翻訳を依頼する翻訳者用のユーザーアカウントを作成します。

(1) 画面左の「ユーザー」メニューをマウスオーバーして+アイコンをクリックするか、同メニューをクリック後、 ユーザーの「新規作成」を押下します。



(2) 必要情報を入力し、「作成」ボタンを押下します。

ユーザー / 作成		
名		
姓		
Eメール		
ユーザー名		
ユーザータイプ	リンギスト	~
タイムゾーン	Asia/Tokyo	~
TBの用語を編集可能		
TMの翻訳を編集可能		
ジョブを拒否		
MTを有効にする		
アクティブ		
全てのPhraseニュースレターを受	信する 🗹	
課金率ルール		~
価格表		~
備考		

- ユーザー名は、Rozetta Phrase 全体で一意(重複なし)である必要があります。削除されたユーザー名を使用することはできません。一意にするため、接頭辞の追加を推奨します。例えば、会社 ABC と DEF に j.doe というユーザーがいる場合、区別するために ABC_j.doe と DEF_j.doe とします。
- **ユーザータイプ**は、プロジェクト設定を行うユーザーであれば「管理者」または「プロジェクトマネージャー」を、翻訳者であれば「リンギスト」を選択します。
- **タイムゾーン**は、登録するユーザーごとに設定します。
- 翻訳者ユーザーは、割り振られたジョブにアクセスできますが、自分で TB を設定することができません。ただし、「TB の用語を編集可能」にチェックがある場合、翻訳者はアサインされたプロジェクトに設定されている TB の用語を編集できます。

(3) 画面左の「設定」→「アクセスとセキュリティ」から、翻訳者ユーザーのアクティブ・非アクティブの切替設定を確認します。チーム版では登録翻訳者数は無制限ですが、同時稼働人数は1アカウントにつき10名までです。「リンギストを自動的に有効/無効にする」のチェックをONにしておくと、依頼しているジョブがゼロになった時点で自動的にアカウントが非アクティブに切替できます。

設定 / アクセスとセキュリティ ☑ メール通知 このプロジェクトのウェブフックを受け取る □ ジョブのステータスが変更されたらジョブのオーナーに通知する ✓ リンギストにCAT web editorの使用を許可する ✓ リンギストに自身の翻訳ジョブのダウンロードを許可する リンギストのPhrase CATエディタにメタデータ (メモリ作成者情報) を表示 ✓ Phraseの技術サポートにアクセス権を与える ✓ リンギストを自動的に有効/無効にする ✓ プロジェクトにベンダーを採用する ☑ 直前のワークフローステップが完了するまで、リンギストは作業を開始できない ✓ リンギストにロック済セグメントの編集を許可する ✓ リンギストにタグのコンテンツの編集を許可する ✓ リンギスト(翻訳者)に原文の編集を許可する ✓ リンギストにLQAスコアカードのダウンロードを許可する ☑ LQAスコアカードにユーザー名を表示する ☑ ユーザーにPhrase CATエディタで繰り返しの自動入力のオン・オフ選択を許可する □ Phrase CATエディタでの即時QAのオンまたはオフの選択をユーザーに許可する □ 共有ジョブのベンダーに参考資料のアップロードを許可する

ヒント: チーム版以上は、1PM アカウントにつき、2 個の無料の「ゲスト」アカウント(紐づけられたクライアントのプロジェクトのみ参照)も作成できます。

ヒント: 「リンギストの Phrase CAT エディタにメタデータ (メモリ作成者情報) を表示」のチェックを OFF にすると、TM や TB の作成者情報がエディタ上に表示されなくなります。

■ ログイン情報をメールする

ユーザーにチェックを入れ、「ログイン情報をメールする」ボタンを使用してログイン情報を送信します。メー ルには、ユーザーアカウント名と、パスワードリセット用の URL が含まれています。複数のユーザーにチェック を入れ、一度に複数のユーザーを対象に送信することもできます。なお、セキュリティの観点から、パスワ ードはご本人で設定していただく必要があります。ユーザー画面からのパスワードの変更はできません ので、ご注意ください。

ユーザー		
新規作成 -	インボート ログイン情報をメー	ールする
	姓	名
2 🗸 31	Rozetta	Demo

■ 初期設定

Rozetta Phrase で翻訳プロジェクトを開始する前に必要な初期設定を行います。Rozetta Phrase の画面左側に表示される設定タブをクリックすると、各種設定を行う画面(「設定メニュー」)に移動します。各種設定はここから行います。

Ģ	Rozetta Dhrase	≡<
	プロジェクト	
Ô	ジョブ	
٢	翻訳メモリ	
	用語ベース	
0.e 6 6	ユーザー	
ıh	分析	
÷>	サブミッターポータル	
鐐	設定	

ここで行った変更は、以降、新規プロジェクトの作成時に採用されます。(過去に作成したものに遡って 変更されることはありません。)

機械翻訳エンジン

T-4OO/T-3MT エンジンを登録するのに使います。Rozetta Phrase で T-4OO/T-3MT エンジ ンを使用するには、この設定が必須です。

T-400 エンジンを登録する場合:

- (1)「インテグレーション」の「機械翻訳エンジン」リンクをクリックします。
- (2)「機械翻訳エンジン」画面で「作成」ボタンを押下し、「MT エンジンのタイプ」プルダウンメニューから 「Rozetta T-400」を選択して「作成」ボタンを押下します。
- (3) 作成画面で「アクセスキー」「シークレットキー」「専門分野 ID」「契約 ID」を指定して、「タグを含 む」のチェックボックスを ON にします。

T-3MT エンジンを登録する場合:

- (1)「インテグレーション」の「機械翻訳エンジン」リンクをクリックします。
- (2)「機械翻訳エンジン」画面で「作成」ボタンを押下し、「MT エンジンのタイプ」プルダウンメニューから 「Rozetta T-3MT」を選択して「作成」ボタンを押下します。
- (3) 作成画面で「名称」「ユーザー名」「パスワード」「分野/モデル ID」を指定して、「タグを含む」のチェ ックボックスを ON にします。

「名称」欄にエンジン名、分野名、カスタムモデル ID、カスタムモデル名、言語方向などの情報を含め ておくと、どのような文書を翻訳するための機械翻訳エンジンであるかを後から判別しやすくなります。

• T-400 専門分野

種類	Rozetta T-400	
名称	T-400 医学 日本語⇔英語、中国語、多言語	
アクセスキー		
シークレットキー	••••••	
専門分野ID	722	
契約ID	*****	
	☑ タグを含む	
	ロデフォルトに設定	
	保存	

• T-3MT カスタムモデル

1000	
名称	T-3MT M6789012 サーバーマニュアル IT 英語
ユーザー名	demo@rozetta.jp
パスワード	•••••
分野/モデルID	M6789012
	☑ タグを含む
	□ デフォルトに設定
÷	保存

プロジェクトのメタデータ

プロジェクト、TM、TB を分類するのに使います。例えばドメインは部署名、サブドメインは翻訳の分野や 製品名、クライアントはお客様名といった形でご利用いただけます。

ワークフローステップ

デフォルトでは、翻訳、校正、クライアントレビューの 3 つが表示されますが、名称を変更したり、必要なワ ークフローステップを追加したりできます。

設定/ワークフローステップ			
新規作成 削除			
名称	略言語	オーダー 🔺	
□ 翻訳	т	10	
□ 校正	R	20	
✓ クライアントレビュー	CR	30	

ヒント:「オーダー」は、ワークフローステップが実行される順序を定義します。上記の場合、「翻訳→クライ アントレビュー」というワークフローステップのプロジェクトは作成できますが、「翻訳→クライアントレビュー→校 正」という順序のプロジェクトは作成できません。

メールテンプレート

メールテンプレートを使用して、Rozetta Phraseから送信されるメールの内容を変更できます。 設定メニューの「**管理**」の下にある、「**メールテンプレート**」をクリックします。

設定 / メール	設定 / メールテンプレート				
新規作成	HIRR				
種類	名称	件名	本文		
□ 割り当て済の)ジ 新規案件(en)	新規案件	[linguist.firstName]様		
ョブ			新規案件のご依頼です。		
			[johInfo] 二元 イル:[job.name] 二百名:[job.sourceLang] 好明:[job.dateDue] [/job.dateDue]		
			作業を開始するにはRozetta Phraseにサインインしてください。 [project.url]		
			ご質問などございましたら、お問い合わせください。		
			よろしくお願いいたします。		
			[sender.firstName] [sender.lastName] [sender.email]		
			サインイン:[system.url] ユーザー名:[linguist.userName]		
			パスワードをお持ちでない場合は、こちらのリンクをクリックし、作成してください。 [system.url.passwordReset]		

- テンプレートの新規作成時は、選択したテンプレートの種類ごとに、ユーザーの設定言語別にデフォルトの本文が自動で設定されます。
- テンプレート名をクリックして、テンプレートを編集できます。
- ・ 種類が「ログイン情報」または「割り当て済のジョブ」のメールテンプレートは送信時に表示されるプル ダウンメニューから、どのテンプレートを送信するかを選択できますが、それ以外の種類(「自動送信 メール」)のテンプレートが複数ある場合、一番上のものが採用されます。
- 自動送信メールは言語により切替ができませんので、英語のみの表記とするか、1 つのテンプレート 内に日英併記をします。
- テンプレート内に使用可能なマクロ(動的にユーザー名などを取得するための書式)の一覧は以下 のページを参照します(Phrase 社の英文ヘルプ記事)。
 <u>https://support.phrase.com/hc/en-us/articles/5709617392540-Email-</u> <u>Templates-and-Submitter-Portal-Macros-TMS-</u>

有効な言語

不要な言語を非アクティブ化しておくと非表示となります。2023 年 3 月の時点で T-400 エンジンは 104 言語の翻訳をサポートしています。T-3MT エンジンは 25 言語の翻訳をサポートしています。

3. プロジェクト作成

プロジェクトは翻訳対象ファイル(ジョブ)を管理するフォルダのようなものです。翻訳対象のファイルに加え、 機械翻訳やアクセス権限などをプロジェクごとトに設定し、変更できます。

(1) 画面左の「プロジェクト」メニューをマウスオーバーして+アイコンをクリックするか、同メニューをクリック 後にプロジェクトの「新規」を押下します。

$\operatorname{Rozetta}_{\operatorname{Phrase}} \operatorname{Phrase}$	設定	
 プロジェクト + ジョブ 御 翻訳メモリ 	ツール アーカイブ済みプロジェクト ごみ箱	
で Rozetta 云 プロ	コジェクト	+ 新規 Q 凢 DR
 ロ プロジェクト ロ ジョブ 	全て v 三Q コンテンツを検索する ベータ • 顔称 アーカイブ	

(2) 名称、原文言語、訳文言語を入力します。

プロジェクトを作成		
ユーザーテンプレート	·	
名称	サンプルプロジェクト	
ドメイン	ドメインを選択	
サブドメイン	サブドメインを選択	
原文言語	日本語~	
訳文言語	検索 英語 (アメリカ) 英語 (イギリス) 日本語 日本語 (日本)	

- (3)「設定」については推奨設定がございますので、以下をご覧ください。
 - 機械翻訳エンジン プロジェクトで使用する T-400/T-3MT エンジンの分野/カスタムモデ ルを指定します。

● 機械番	限エンジン				
T-3MT	L100001 IT ・機柄	載・電気電子	日本語⇔英語	変更	無効

 ● ワークフロー ✓ 翻訳 ✓ 校正 □ クライアントレビュー ファイルの引き渡し
ファイルの引き渡し機能を有効にすると、最新のワークフローステップに各ジョブのファ ます。割り当てられたリンギストは、Phrase以外のツールでの更新が必要な場合に備えて ことができます。
□ ファイルの引き渡しを有効にする
ワークフローの自動化
□ ワークフローの前のステップ完了後、未割り当てのジョブを「完了済」に設定します

注:ワークフローステップはチーム版以上でご利用可能です。

「アクセスとセキュリティ」→「ワークフローの直前のステップが完了するまで、リンギストは作業を開始できない」
 当者が作業を開始できないようにする設定です。

● アクセスとセキュリティ
☑ メール通知
□ ジョブのステータスが変更されたらジョブのオーナーに通知する
✓ このプロジェクトのウェブフックを受け取る
✓ リンギストに自身の翻訳ジョブのダウンロードを許可する
✓ リンギストのPhrase CATエディタにメタデータ (メモリ作成者情報) を表示
✓ リンギストにCAT web editorの使用を許可する
✓ ベンダーを採用する
☑ 直前のワークフローステップが完了するまで、リンギストは作業を開始できない
✓ リンギストにロック済セグメントの編集を許可する
✔ リンギストにタグのコンテンツの編集を許可する
✔ リンギスト(翻訳者)に原文の編集を許可する
✓ LQAスコアカードにユーザー名を表示する
✓ ユーザーにPhrase CATエディタで繰り返しの自動入力のオン・オフ選択を許可する
✓ Phrase CATエディタでの即時QAのオンまたはオフの選択をユーザーに許可する
□ 共有ジョブのベンダーに参考資料のアップロードを許可する
ベンダーに共有ジョブの納期の変更を許可する
☑ Phrase CATエディタでの外部コンテンツの読み込みを許可する
□ CAT web editorでのiframeの読み込みを許可する

(4)「作成」ボタンを押下すると、プロジェクトの作成は完了です。

■ プロジェクト編集

一度作成したプロジェクトの設定は、いつでも変更可能です。プロジェクト画面右上「編集」をクリックしま す。

		Q	Ų	DR
✓ 編集	こ 名前を付けて保存	0	削除	$) \bigcirc$

プロジェクトで使用する T-4OO/T-3MT エンジンの分野/カスタムモデルを変更する場合も、同様にしてプロジェクトを編集します。変更方法は以下の通りです。

- (1)「プロジェクトを編集」画面で「機械翻訳エンジン」欄の「変更」リンクをクリックします。
- (2) ポップアップ画面で登録された機械翻訳エンジンの中から該当するカスタムモデル/分野を選択して 「選択した MT エンジンを使用」ボタンを押下します。

機	械番	羽訳エンシ	ジンを選択				×
	0	T-3MT 語	L140001	建設	日本語⇔英	Rozetta T-3MT	•
(0	T-3MT 英語	L150001	自動車	日本語⇔	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 語	L160001	電気	日本語⇔英	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 日本語€	L200001 ⇒英語	医薬・	化学・環境	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 語	L220001	化学	日本語⇔英	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 語	L230001	食品	日本語⇔英	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 語	L300001	特許	日本語⇔英	Rozetta T-3MT	
	0	T-3MT 日本語€	L420001 ⇒英語	金融·	IR・会計	Rozetta T-3MT	•
						選択したMTエンジンを使用	

プロジェクトテンプレート

(1)対象のプロジェクトをテンプレートとして保存するには、プロジェクト画面から「名前を付けて保存」→ 「テンプレート保存」を選択します。テンプレートには、プロジェクト設定情報に加え、ファイルのインポ ート設定、TM、TB が含まれます。

✓ 編集	■ 名前を付けて保存	□ 削除)(·

(2) プロジェクトの新規作成時に、使用したいテンプレートを選択します。

プロジェクト	を作成	
ユーザーテンプレート		~
名称	最近 サンプルプロジェクト	
ドメイン	Default Template 全て	
サブドメイン	Default Template サンプルプロジェクト	
原文言語		~

ヒント:利用可能なテンプレートは設定メニューから確認でき、内容の変更も可能です。

4. ジョブ作成

プロジェクトの作成が完了したら、翻訳対象のファイルをアップロードします。これを「ジョブの作成」と呼びます。

(1) プロジェクト上のジョブの右側に表示されている「新規作成」ボタンを押下します。

ジョブ	翻訳	~	新規作成
-----	----	---	------

- (2)「ファイル選択」ボタンをクリックし、翻訳対象のファイルを選択します。
- (3)「プロバイダを選択する」のフィールドに翻訳者を指定します。
- (4) **T-4OO/T-3MT エンジンを利用する場合、必ず「一括翻訳」のチェックボックスを ON にしま す。**設定メニューにある「一括翻訳」の設定に従って翻訳メモリ・機械翻訳が流し込まれます。T-4OO/T-3MT エンジンを利用しない場合は、このチェックボックスを OFF にしてください。

 翻訳 訳文言語 	
☑ 英語 (en)	プロバイダを選択する
一括翻訳	

- (5) 決まっていれば「納期」を設定します。
- (6) 指定した翻訳者にメールで通知する場合、「プロバイダに通知する」を設定します。

ファイル ファイル選択 Rozetta …とは.docx	
オンラインストレージから追加する	
A 2019	
訳文言語	
☑ 英語 (en) Rozetta Demo 3	
──括翻訳	
納期 2023-02-10 18:00	
プロバイダに通知する ☑ 新規案件(en) ~ 間隔 同時に	~
● 校正	
作成	

なお、翻訳者の指定・メールの送信は、後からでも可能です。本マニュアル「翻訳者へのメール送信」 を参照します。ご自身で翻訳を進められる場合には、こちらの翻訳者指定・メール送信の工程は不 要です。

■ 複数翻訳者の指定

翻訳者は複数設定可能です。例えば以下の例ですと、最初に「Rozetta Demo 3」さんに案件の打診 メールが送信され、5 分後に「Rozetta Demo 4」さんに案件の打診メールが送信されます。「Rozetta Demo 4」さんが Rozetta Phrase にログインして、ジョブの依頼を承諾すると、その時点で、打診メール の送信は止まり、他の翻訳者は本ジョブにアクセスできなくなります。

● 翻訳			
訳文言語			
☑ 英語 (en)	Rozetta Demo 3 Rozetta Demo 4 Rozetta Demo 5		
一括翻訳			
納期	2023-02-10 18:00		
プロバイダに通知する	☑ 新規案件(en)	✔ 間隔 5分	~

■ オンラインストレージから追加

翻訳対象ファイルは、ローカルドライブの他、FTP /Google Drive/ Dropbox といったオンラインストレージからも選択できます。詳しくは付録の「オンラインストレージとの連携」を参照します。



■ ファイルインポートの設定

デフォルト以外のインポート設定が必要な場合、「作成」ボタンの下にあるファイルインポートの設定を選択します。以下はインポート設定の例です。

T-400/T-3MT エンジンで XML ファイルを一括翻訳する場合、「インライン要素を自動的に判別する」のチェックボックスを ON にすると、XML タグの前で文分割される問題を回避できます。
 設定メニューのファイルインポートの設定でも、同様に ON にしておくことを推奨します。

• XML	
インボートルールの形式 ブレーン ~	
タグ要素 *	●選択したものをインポートする ○選択したものを無視する
タグ属性	●選択したものをインポートする ○選択したものを無視する
翻訳可能インライン要素	✓ インライン要素を自動的に判別する
翻訳不要インライン要素	
HTMLとして処理する要素	
ロック済要素	
ロック済属性	

 ワードファイルの索引とコメントをインポートする設定は以下の通りです。また、PDF から変換された
 ワードファイルなどでは、アップロード後に多数のタグがエディタに表示される場合があります。タグが多 すぎて翻訳作業に支障がありそうな場合、「タグの数を最小限に抑える」オプションで再インポートす ることができます。こちらのオプションは、場合によっては本来必要なタグを削除する可能性があります。
 「一括翻訳」→「空欄セグメントに原文をコピー」→「訳文ファイルダウンロード」で取得したファイルと 元のドキュメントを比較し、タグが不正に削除されていないかご確認ください。

Microsoft Word
✓ インデックスエントリをインポート
☑ コメントをインポート
□ ハイパーリンクのリンク先をインポート
□ タグの数を最小限に抑える
□ ドキュメントプロパティをインポート
□ 非表示テキストをインポート
□ その他のテキストをインポート
☑ ヘッダーとフッターをインポート
訳文フォント
Phrase TMSタグに変換する

多言語エクセルファイルのインポートの場合、「ファイルの種類」で「多言語 MS Excel および CSV を自動検出する」のチェックボックスを ON にします。



ファイルインポート設定が終わったら、以下の手順でファイルをアップロードして、ジョブ作成を完了します。

- (1)「作成」ボタンを押下すると、ファイルがインポートされ、ジョブが作成されます。
 注:作成済みジョブのインポート設定を変更することはできません。設定を間違えてインポートしてしまった場合、再度インポートが必要です。
- (2) 既存のインポート設定と同じものを使用したい場合、ファイル名右の「…」をマウスオーバーしてツール チップを表示し、「同じファイルインポートの設定を使用」の「ジョブを新規作成」ボタンを押下します。

ジョ	ョブ 🔺	翻訳 🗸	新規作成 編集	ダウンロード	解析する	一括翻訳	ツール
	# 🔺	確定済	ファイル		イルの種類	Microso	ft Word
	1	0%	w Rozetta Phraseとは.do		ウェストッイ. シファイルインi	ポートの設定	を使用
					ショノを新規作	=bX	

5. 翻訳メモリ作成

新しい翻訳メモリを作成し、シンプルなエクセル形式で翻訳メモリをインポートします。 **ヒント:**既存の TMX 形式の翻訳メモリがある場合も、エクセルと同様にインポートできます。

(1) 事前に、エクセル形式で翻訳メモリを準備しておきます。1 行目に言語コードを入れ、2 行目以降に 翻訳メモリを追加します。※セルの結合などは行わないでください。

	Α	В
1	ja	en
2	Rozetta Phraseとは?	What is Rozetta Phrase?
3	『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶カスタマ イズ翻訳「T-3MT」と、翻訳管理システム 「Phrase」を統合したサービスです。	Rozetta Phrase is a service that integrates Rozetta's superior custom machine translation engine, T-3MT, with the industry standard translation management system, Phrase.
4	T-3MTで自動生成した翻訳エンジンとPhraseを API連携。翻訳の工程を劇的に効率化します。	Integrating these two leading products via an API dramatically streamlines your translation process.

注: この形式では、同じ原文に対して複数の訳文をインポートできません。異なるコンテキスト(前後のセグメント)の設定が必要です。

(2) 画面左の「翻訳メモリ」メニューをマウスオーバーして+アイコンをクリックするか、同メニューをクリック 後、翻訳メモリの「新規」ボタンから新しい翻訳メモリを作成します。

Rozetta Phrase	⇒ 設定	
 ゴロジェクト ゴョブ 翻訳メモリ 	ツール アーカイブ済みプロジェクト ごみ箱	
■ 用語ベース	組織	
© Rozetta Phrase ≕	翻訳メモリ	+ 新規 Q ① DR
ロ プロジェクト		
□ ジョブ		
翻訳メモリ		
■ 用語ベース		

(3) 必須項目(名称、原文言語、訳文言語)と、必要に応じてクライアント、ドメイン、サブドメイン、 備考を指定して、「**作成**」を押下します。

名称	サンプルTM		
原文言語	日本語		
訳文言語	検索		
	英語 (アメリカ)	英語	
	英語 (イギリス)	0	
	日本語 日本語 (日本)	G	
ドメイン	ドメインを選択		
サブドメイン	サブドメインを選択		
備老			

(4) 新しい翻訳メモリが作成できたら、次は翻訳メモリをインポートします。「インポート」ボタンをクリックした後、インポート元のエクセルファイルを選択します。

検索		TMX / XLSX / MXLIFF / SDLXLIFF (WorldServer) の ×
		ファイル ファイルを選択 サンプ7789.xlsx
		 ワクを削除 ロケールを一致させる
言語	日本語	山 確定されていないセクメントを無視する(MXLFF)

(5) 無事インポートが完了すると、最後にインポートしたファイルの右側に青色のアイコンが表示され、イン ポートされたセグメント数が表示されます。

サンプルTM			
#	74	原文言語	ja
名称	サンプルTM	訳文言語	en
作成者	rozetta_demo_01	セグメント数	3
作成日時	2/7 14:57		
オーナー	rozetta_demo_01		
最後にインボートしたファイル	0		

■ ID 付きのエクセル TM インポート

ID を指定して更新または削除する方法は以下の通りです。

削除	セグメントを削除するには、ID の後に delete を追加
更新	セグメントを更新するには、ID の後に update を追加

	A	В
1	*ID*	ja
	_MpROLoKvgC15269MJV1eJY6W2 <mark>Idelete</mark>	Rozetta Phraseとは?
2		
	_RMIwFwbk0kp4I69MLVxu2sev1[update]	『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶カスタマイズ翻訳 「T-3MT」と、翻訳管理システム「Phrase」を統合したサー ビスです。
3		

新規にインポートされたセグメントは、コンテキストを元に重複削除されます。前後の文脈が違えば、同じ 原文に対して、複数の訳文をインポートできます。前後のセグメントを常に含めた状態でのインポート/エ クスポートを推奨します。前後のセグメントがない場合、同じ原文に対して複数の訳文はインポートできま せん。

	A	В	C	D
1	*ID*	ja	prev	next
2	_MpROLoKvgC15269MJV1eJY6W2 delete	Rozetta Phraseとは?		『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶カスタマイズ翻訳 「T-3MT」と、翻訳管理システム「Phrase」を統合したサー ビスです。
3	_RMIwFwbk0kp4l69MLVxu2sev1lupdate	『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶カスタマイズ翻訳 「T-3MT」と、翻訳管理システム「Phrase」を統合したサー ビスです。	Rozetta Phraseとは?	T-3MTで自動生成した個訳エンジンとPhraseをAPI違携。 副 訳の工程を創的に効率化します。

■ アライン

CAT ツールを使用せずに過去に翻訳されたコンテンツを、翻訳メモリの形式に変換する機能を「アライン」 と呼びます。これは翻訳メモリシステムの標準的な機能です。

Rozetta Phrase 上で、単一のファイル同士を組み合わせる、または複数のファイルをまとめて処理することができます。アラインを起動するには、コンテンツをインポートしたい翻訳メモリの横の「**アライン**」ボタンをクリックします。

言語	英語		~	検索
インポー	ト / エクスポート	インポート	エクスポート	アライン
				1つの原文 + 1つの訳文ファイル 複数ファイル

次の2つのオプションが利用可能です。

- 1つの原文 + 1つの訳文ファイル
- 複数ファイル

複数ファイルオプションは、複数ファイルを一括で処理する時に便利です。対になっているファイル(原文/ 訳文)は、全く同じ名前で、source と target というフォルダに対応するファイルを格納して Zip する必 要があります。

名前	~	
source		
📕 target		

Rozetta Phrase にインポートされたファイルは、コンテンツごとに対になり、原文、訳文、ファイル名の3列のエクセルフォーマットに変更されます。必要に応じて、エクセル上で編集後、翻訳メモリにインポートします。

場合によっては、アライン専用の翻訳メモリを作成します。もともとアラインから作成された TM と、翻訳作 業による TM との区別が容易になります。コンテンツ自体に差分があったり、原文と訳文のフォーマットが一 致していなかったり、複数の原因により、うまくアラインが機能しない場合があります。解決策のひとつは、エ クセル自体は編集せずにプロジェクトに設定される TM にアライン結果をインポートし、参考資料としてアラ インしたエクセルを添付することです。明らかに横並びが異なると翻訳者が判断した場合、参考資料のエ クセルファイルを参照すると、本来の翻訳がその近くに存在するはずです。

アラインで出力されたエクセル形式のイメージ

1	А	В	с
1	en	es	filename
2	{b>CHARTER OF <b}{1>{b>FUNDAMENTAL RIGHTS<b}<1}{b> OF THE EUROPEAN UNION<b}< td=""><td>{b>CARTA DE LOS DERECHOS FUNDAMENTALES DE LA UNIÓN EUROPEA<b}< td=""><td>charter - spanish.docx</td></b}<></td></b}<></b}<1}{b></b}{1>	{b>CARTA DE LOS DERECHOS FUNDAMENTALES DE LA UNIÓN EUROPEA <b}< td=""><td>charter - spanish.docx</td></b}<>	charter - spanish.docx
3	The European Parliament, the Council and the Commission solemnly proclaim the following text as the Charter of Fundamental Rights of the European Union:	El Parlamento Europeo, el Consejo y la Comisión proclaman solemnemente en tanto que Carta de los Derechos Fundamentales de la Unión Europea el texto que figura a continuación:	charter - spanish.docx
4	The peoples of Europe, in creating an ever closer union among them, are resolved to share a peaceful future based on common values.	Los pueblos de Europa, al crear entre sí una unión cada vez más estrecha, han decidido compartir un porvenir pacífico basado en valores comunes.	charter - spanish.docx
5	The Union contributes to the preservation and to the development of these common values while respecting the diversity of the cultures and traditions of the peoples of Europe as well as the national identities of the Member States and the organisation of their public authorities at national, regional and local levels; it seeks to promote balanced and sustainable development and ensures free movement of persons, services, goods and capital, and the freedom of stabilishment	La Unión contribuye a defender y fomentar estos valores comunes dentro del respeto de la diversidad de culturas y tradiciones de los pueblos de Europa, así como de la identidad nacional de los Estados miembros y de la organización de sus poderes públicos a escala nacional, regional y local; trata de fomentar un desarrollo equilibrado y sostenible y garantiza la libre circulación de personas, servicios, mercancias y capitales, así como la libertad de establecimiento.	charter - spanish.docx
5	To this end, it is necessary to strengthen the protection	Para ello es necesario, dándoles mayor proyección	charter - spanish.docx

■ 翻訳メモリのエクスポート

Rozetta Phrase では、「.xlsx」と「.tmx」という2つのファイル形式で翻訳メモリをエクスポートで きます。TMX(Translation Memory eXchange)は翻訳メモリデータの標準規格であり、多くの翻 訳支援ツールがこの形式をサポートしています。

T-3MT 製品版でカスタムモデルを生成する場合、必ず TMX 形式の対訳データを利用するようにし ます。カスタムモデルの作成時に、翻訳メモリに含まれる「タグ(書式情報)」が影響することがありま す。T-3MT 製品版には、TMX 形式の翻訳メモリからこれらの「タグ」を自動的に削除する機能が実 装されています。

TMX/XLSX ファイルをエクスポー	× ×
ファイル形式TMX	~
	エクスポート

6. 用語ベース作成

新しい用語ベースを作成し、シンプルなエクセル形式で用語をインポートします。 **ヒント:**既存の TBX 形式の用語ベースがある場合も、エクセルと同様にインポートできます。

(1) 事前に、エクセル形式で用語ベースを準備しておきます。1 行目に言語コードを入れます。

	A	В	С
1	en	ja	
2	Agreement	合意事項	
3	Joint Committee	合同委員会	
4	Federal Council	連邦評議会	
5			

(2) 画面左の「**用語ベース**」メニューをマウスオーバーして**+アイコン**をクリックするか、同メニューをクリック後 に用語ベースの「新規」を押下します。

© Rozetta Phrase ≡	設定	
 ご プロジェクト ご ジョブ 創 翻訳メモリ 回 用語ベース + 	ツール アーカイブ済みプロジェクト ごみ箱 組織	
でる Rozetta ≕ 用調	吾ベース	+ 新規 Q 点 DR
 プロジェクト ショブ 朝訳メモリ 用語ペース 		

(3) 必須項目(名称、言語)と、必要に応じてクライアント、ドメイン、サブドメイン、備考を指定して、 「作成」を押下します。

名称	サンプルTB	
言語	検索	
	英語 (アメリカ)	英語
	英語 (イギリス)	▶ 日本語
	日本語 (日本)	
ドメイン	ドメインを選択	
サブドメイン	サブドメインを選択	
備老		

(4) 新しい用語ベースが作成できたら、次は用語ベースをインポートします。「インポート」ボタンをクリックした後、インポート元のエクセルファイルを選択します。

用語 新規作成	TBX/XLSXファイルをインポート X
4	ファイル ファイルを選択 サンプ5503.xlsx オプション ● 既存の用語を作成 ○ 既存の用語を上書き
言語 用語	 ロケールを一致させる インポート
インポート / エクスポ	ート インポート エクスポート

(5) 無事インポートが完了すると、最後にインポートしたファイルの右側に青色のアイコンが表示され、イン ポートされた用語数が表示されます。

サンプルTB		
#	26	言語 en ja
名称	サンプルTB	用語 6
作成者	rozetta_demo_01	
作成日時	2/8 15:06	
オーナー	rozetta_demo_01	
最後にインポートしたファイル	0	

■ 用語と属性の新規追加

用語に加え、以下の属性もエクセル形式でインポートできます。

- ステータス(新規作成、承認済み)
- 推奨 (True または False)
- 禁止(True または False)
- 大文字小文字の区別(True または False)
- 一致タイプ(完全一致、あいまい一致)
- 使用例
- 品詞(形容詞、動詞、名詞、副詞)
- 性別(男性、女性、中性)
- 数字(単数形、複数形、不可算)
- 備考
- 短い内容の翻訳
- 用語の種類(完全形、短縮形、頭字語、略語、句、異形)

用語集以外の他の属性(例:「備考」など)も、用語の右横に列を追加する形で用語追加時に併せ て登録することが可能です。

x	自動保存オン) 🛱 サンス	プルTB-936	207.xlsx • 保存	ア済み ✔		
ファ	^ッ イル <u>ホーム</u> 挿入	ページレー	የፖウト	数式 データ	校閲表	示 自動	化 ヘルプ
		切り取り コピー ~		游ゴシック	Parate 11 and	~ <u>11</u> ~	A^
	、 貼り付け 一	書式のコピー/貼	的付け	B I <u>U</u> ∖	· 田 • 🔗	• <u>A</u> •	₽ ~ 目
л	こに戻す クリ	ップボード	۲ <u>م</u>		フォント		L2
S	18 🔽 : 🗙	$(\checkmark f_x]$					
	A	В	С	D	E	F	G
1	en	status	case	ja	status	case	
2	Federal Council	Approved	TRUE	連邦評議会	Approved	FALSE	
3	Agreement	Approved	FALSE	合意事項	Approved	FALSE	
4	Joint Committee	Approved	TRUE	合同委員会	New	FALSE	
5							

ヒント:1 行目の列名や、設定値が不明な場合、必要な属性を選択した上で用語ベースをエクスポート してダウンロードされたエクセルファイルを開くと確認できます。

■ 上書きモード

既存の用語ベースに用語を新規追加する代わりに、既存の用語を修正(更新または削除)したい時に はこちらのモードを使用します。上書きモードを実行するには以下の手順に従います。

(1) Rozetta Phrase から修正したい属性を選択した上で、エクセルファイルをエクスポートします。デフォ ルトでは「ステータス」のみですが、必要に応じてその他のチェックを ON にします。

TBX/XLSXファ	ァイルをエクスポート	×
ファイル形式	XLSX ~	
ドメイン	全てのドメイン ・	
サブドメイン	全てのサブドメイン	
エクスポート	 コンセプトID 用語D 用語 ステータス 禁止 推奨 大文字小文字の区別 一致タイプ 使用例 品詞 性別 数字 備考 短い内容の翻訳 用語の種類 作成組織 最終更新者 最終更新日時 ドメイン サブドメイン リTドメイン URL 定義 コンセプト備考 	レポート
	ロ コンセプト備考 エクス	ペポート

(2) エクスポートしたファイルを編集して、修正項目を加えます。

ヒント: エクスポートしたエクセルファイル上で緑色になっている箇所は KEY 情報です。"|delete"オ プションを追加する以外は変更しないようにしてください。

以下は、不要な用語の削除と、既存の用語の更新を行うエクセルファイルの例です。3 行目は新しい 用語(「合意事項」を「協定」に変更)で更新され、2 行目は行ごと削除されます。

	A	В	С	D	E	F	G	Н	I
1	CID	TID	en	status	case	TID	ja	status	case
2	hr9qKISsw7B2U74Ma00o0dYx0Idelete	jqiDVCWQgmr2Li	Federal Council	Approved	TRUE	ClofWMRxwMq26	連邦評議会	Approved	FALSE
3	wddfcqiCw065OM88Wh0C2gLM0	gIX3q64Dgfl2F19g	Agreement	Approved	FALSE	autf8rpmMU15kg	協定	Approved	FALSE
4	CEd1DAVg0wFbMMjg0f7y81nlf	6Y10Kqmx1qGjoB	Joint Committee	Approved	TRUE	COE3VOnh0AU5u	合同委員会	New	FALSE

(3) エクセルファイルの編集が完了したら、ファイルを保存します。上書きモードでファイルをインポートするに は「既存の用語を上書き」オプションを選択します。



■ 同義語の登録方法

Rozetta Phrase 上で登録する場合、用語の右横に表示される青色の(+)ボタンから追加します。

言語	用語	ステータス	作成日時
en	Agreement	承認済み	2023/2/8 15:20
ja	合意事項●≥	承認済み	2023/2/8 15:20
	協定		
	キャンセル 追加		

エクセルインポートの場合、同義語として登録したい用語のために1列追加しておく必要があります。

	A	В	С	D
1	en	ja	ja	
2	Federal Council	連邦評議会		
3	Agreement	合意事項	協定	
4	Joint Committee	合同委員会		
5				

7.プロジェクト設定

プロジェクトに翻訳メモリと用語集を設定します。既存のプロジェクト、翻訳メモリ、用語集があることを前提 にしています。まだ作成していない場合、「<u>プロジェクト作成</u>」、「<u>翻訳メモリ作成</u>」、「<u>用語ベース作成</u>」を参 考にして作成してください。

■ 翻訳メモリ設定

(1) プロジェクト一覧ページから、翻訳メモリを設定したいプロジェクトを選択します。

© Rozetta ≕ Phrase ≕	プロジェクト				
 ご プロジェクト + ニ ジョブ 	≙ ۲	 三Q コンテンツを相 	検索する 🔨 一	タ ・ 削除 アーカ	イブ
 ・ 翻訳メモリ ・ ・ ・	□ #	名称	進捗	作成日時	オーナー
2: ユーザー	□ 226	サンプルプロジェクト)	2/3 15:52	rozetta_demo_01

(2) 翻訳メモリの「選択」を押下します。

翻訳メモリ	選択	新規作成
町コのノクレン	122117	ALC/GIERA

(3) プロジェクトにワークフローステップの設定がある場合以下のような画面が表示されます。ここでは何も 変更せず、「続ける」を押下します。

以下に翻訳メモリを選択してください。	×
岱 全てのワークフローステップ	•
キャンセル	読ける
(4) 翻訳メモリの一覧が表示されます。「関連あり」の翻訳メモリの中から、+ボタンを押下して使用するメ モリを選択し、「書き込み」のチェックボックスを ON にして「すべて保存」を押下します。

サンブルプロジェクト 翻訳メモリ			キャンセル すべて保存
選択対象 英語 対象場所 全てのワーク	フローステップ		
関連あり 0 3	 て TM の検索	選択済 2	優先順位の定義 0 01
74 サンプルTM	ja → en ⊙	74 サンプルTM	ja → en 🔽 書き込み ペナルティ 0% ▼ 〇
77 サンプルTM 2	ja → en 💿	76 サンプルTM E2J	en → ja 🛛 書き込み ペナルティ 2% 🔻 🔾
76 サンプルTM E2J	en → ja ⊝		

ヒント:1 プロジェクトにつき、最低 1 つの翻訳メモリが「書き込み」用に選択されている必要があります。1 プロジェクトには、最大で 10 の翻訳メモリを設定できます。

注:上書きされたくない翻訳メモリは、書き込み用に設定しないようにします。

ヒント:ペナルティ(%)に指定した数値の分だけ一致率が低くなります。同じような内容の翻訳メモリがある場合には、優先したくない翻訳メモリにペナルティを設定します。

■ ワークフローステップ別の翻訳メモリ設定

ワークフローステップ毎に、別々の翻訳メモリ設定を行うことができます。これを行うには、「選択」ボタンの押 下時に表示されるポップアップ画面のプルダウンメニューで「**個別のワークフローステップ**」を選択します。



この際、どのステップに対する設定なのかは、ジョブの右側に表示されています。

ジョブ 🔺	校正	~	新規作成	編集	ダウンロード	解析する	一括翻訳	ツール	削除

例えば、上記は、今「校正」ステップにいるという意味なので、このページの下にある翻訳メモリの「選択」から、ポップアップ画面のプルダウンメニューで「個別のワークフローステップ」を選択した場合、「校正」ステップ に対する翻訳メモリの設定を行っていることになります。

注: ワークフローステップごとの設定は翻訳メモリのみ対応しています。 用語ベースについては1プロジェクト につき1種類の設定になります。

■ 用語ベース設定

(1) プロジェクト一覧ページから、用語ベースを設定したいプロジェクトを選択します。

© Rozetta ⇒ Phrase ⇒	プロジェク	\vdash			
プロジェクト +	≙ 7	× =Q =>5	テンツを検索する ベー	-夕 ▼ 削除	アーカイブ
☆ ジョブ					
④ 翻訳メモリ	#	名称	進捗	作成日時	オーナー
	□ 226	サンプルプロジェ	エクト	2/3 15:52	rozetta_demo_01

(2) 用語ベースの「選択」を押下します。

用語ベース	選択	新規作成
-------	----	------

(3) 用語ベースの一覧が表示されます。読み取り、書き込みまたは QA の列にチェックを入れて選択し、 「保存」を押下します。

プロジェクト / サンプルプロジェ	クト / 用語ベース							
用語ベースの訳文言語を選択してくだ	用語ベースの訳文言語を選択してください。英語 (en)							
ブロジェクト サンプルプロジェクト 関連あり 3項目の内3項目を表示。詳細を表示するには	マイルタを使用してください。							
# 名称	フィルター							
# 名称	読み 書き 取り 込み QA 言語							
26 サンプルTB	🗹 🗹 en ja							
27 サンプルTB 2	🗹 🗌 🗹 en ja							
28 サンプルTB J2E J2CN(zh)	☑ □ □ en ja zh ^{HANS}							
保存								

ヒント: 1 プロジェクトにつき、1 つの用語ベースが「書き込み」用に選択されている必要があります。 1 プロジェクトには、最大で10の用語ベースを設定できますが、書き込み用に設定できるのは1つの みです。

注:上書きされたくない用語ベースは、書き込み用に設定しないようにします。

ヒント: QA にチェックを入れた用語ベースにある用語を使用していない場合、翻訳後の QA 実行時にエラーとして検出されます。

8.解析

解析機能を使用して、選択したファイルの文字/ワード数、繰り返しの数、翻訳不要箇所(NT)、翻訳 メモリとの一致率、機械翻訳との一致率(<u>ポストエディット解析</u>)または改訂者による改訂(<u>比較解析</u>) の計算ができます。

解析は翻訳者(プロバイダ)にアサインでき、翻訳者ポータル(翻訳者ユーザーが Rozetta Phrase に ログインした時の画面)に表示されます。

翻訳費の課金単位は国により異なるため、Rozetta Phrase は各解析に以下を提供しています。

- 文字数(スペースなし)
- ワード数(単語の間にスペースを使用する言語のみ対象、中国語・日本語・タイ語は除く)
- ページ数(スペースも含めた1800文字、実際のファイルのページ数は考慮しない)

以下の解析タイプがサポートされています。



■ デフォルト

翻訳作業前に実施されるべき既定の解析です。セグメント、ワード、文字カウントの詳細を提供し、翻訳 メモリとの一致率、翻訳不要箇所を表示し、顧客に対する見積もりの元データとなります。 セグメント/ワード/文字数の詳細が生成され、プロジェクトで使用される場合、TM 一致は、翻訳不要箇 所(NT)とともに識別されます。

翻訳後にデフォルト解析を実行すると、不正な結果が生成されます。

解析オプション

- 翻訳メモリの一致を含む
- 内部あいまい一致を含む
- 翻訳不要箇所を含む
- 機械翻訳一致を含む
- 確定済みのセグメントを除外
- ロック済セグメントを除外
- 数字を除外
- プロバイダ別分析(複数ファイルが選択された場合、アサインされたプロバイダごとにグループ化して分析され、解析結果は各担当者に参照可能となる)
- 言語毎に解析する(複数ファイルが選択された場合、言語の組合せごとにグループ化して分析される)

■ ポストエディット

機械翻訳と翻訳不要箇所のポストエディット(機械翻訳と翻訳不要箇所のアウトプットの改善に必要と される編集の工数)を解析します。

Rozetta Phrase のポストエディット解析は、従来の TM 分析を拡張して、機械翻訳(MT)と翻訳不要箇所(NT)を含みます。

ユーザーは設定メニュー経由で設定しておくか、実際に「**解析**」を選択した時の画面で、必要な解析のタ イプを変更できます。

注:ポストエディット解析の「MT」項目は、現在のところ、セグメント単位のリアルタイム翻訳に対応し た機械翻訳エンジンのみをサポートしています。T-4OO/T-3MT エンジンは、リアルタイム翻訳に対応 しておらず、ファイル単位の一括翻訳にのみ対応しています。そのため、ポストエディット解析を実施し ても、「MT」の文字数は「O」となり、すべて「TM」の文字数としてカウントされます。

■ 比較

チーム版以上のエディション、かつワークフローステップが有効になったプロジェクトでのみ有効です。異なるワ ークフローステップにある2つのバージョンを比較して、どの程度改訂がなされたのかを解析します。例えば、 翻訳ステップと校正ステップを比較して、校正ステップ中に翻訳がどの程度変更されたかを特定することに より、校正者が実際にどの程度の工数をかけたかが分かります。

■ 解析の実行

このセクションでは、「デフォルト」タイプの解析を実行します。

(1) 解析を実行したいジョブがあるプロジェクト画面に移動します。

(2) 複数のワークフローがある場合、解析を実行したいステップが表示されているかを確認します。

ジョブ 🔺	翻訳	~	新規作成	編集	ダウンロード	解析する	一括翻訳	ツール	削除	
-------	----	---	------	----	--------	------	------	-----	----	--

(3)対象のファイル名にチェックを入れ、「解析する」を押下します。

ジョ	ョブ 🔺	翻訳 🗸	新規作成 編集 ダウンロード	解析する 一括翻訳	ツール 削除
	# 🔺	確定済	ファイル	ステータス	訳文
	1	0%	w Rozetta Phraseとは.docx …	メール済	en

- (4) 必要に応じて解析オプションを変更後、「解析する」ボタンを押下します。
- (5) 解析結果は同じページの「解析」セクションに表示されます。解析ファイル名をクリックします。

解析		編集	再解析	削除	ダウンロード	
	#	名称			プロバイダ	種類
	1	解析	#1			デフォルト

(6) 解析結果が別 Window で表示されます。

	ain.rozetta-phrase.jp/web	p/analyse/show/GXnzQk0b9	SrOOrWUMtgyPQ4			
フ	オルト解析 🔺					
解	析対象 (原文)	~	内部あいま	い一致を含む	~	•
翻	訳メモリの一致を含む	~				
		▼ ↓ 課金率を週			CSV	~ 9020-
-						
_						
ja	→ en					
ja M: ·	→ en					
ja M: ·	→ en サンプルTM					
ja M: ・ ワア・	→ en サンプルTM (ル: Rozetta Phraseとは.d				+~~*	9/
ja M: ファー	→ en サンプルTM ()し: Rozetta Phraseとは.d	ocx セグメント数	枚数	ワード数	文字数	%
ja M: ⁻ 7ア-	→ en サンプルTM ()ル: Rozetta Phraseとは.d 全て	ocx セグメント数 22	枚数 0.46	ワード数 613	文字数 808	% 100
ja M: ` ファ-	 → en サンプルTM イル・Rozetta Phraseとは.d 全て 繰り返し 	oox セグメント数 22 0	枚数 0.46 0	ワード数 613 0	文字数 808 0	% 100 0
ja M: ・・ ファー - マワ	 → en サンプルTM (<i>i</i>)<i>L</i>: Rozetta Phraseとは.d 全て 繰り返し 101% 	ocx セグメント数 22 0 0	枚数 0.46 0 0	ワード数 613 0 0	文字数 808 0 0	% 100 0 0
ja M: ¹ ア・ +	 → en サンプルTM (<i>1</i>)<i>L</i>: Rozetta Phraseとは.d 全て 繰り返し 101% 100% 	ocx セグメント数 22 0 0 2	枚数 0.46 0 0 0 0 0.05	<mark>ワード数</mark> 613 0 0 44	文字数 808 0 0 85	% 100 0 0 7.2
ja M: '77- + +	 → en サンプルTM イル: Rozetta Phraseとは.d 全て 繰り返し 100% 95%-99% 	ocx セグメント数 22 0 0 2 0		ワード数 613 0 0 44 0	文字数 808 0 0 85 0	% 100 0 0 7.2 0
ja M: '7- +	 → en サンプルTM (<i>IL: Rozetta Phraseとは.d</i> 全て 繰り返し 101% 100% 95%-99% 85%-94% 	ocx セグメント数 22 0 0 2 0 0 0	枚数 0.46 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<mark>ワード数</mark> 613 0 0 44 0 0	文字数 808 0 85 0 0	% 100 0 7.2 0 0
ja M: 77- + +	 → en サンプルTM ()レ: Rozetta Phraseとは.d 全て 繰り返し 100% 95%-99% 85%-94% 75%-84% 	ocx セグメント数 22 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0	枚数 0.46 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	 ワード数 613 0 0 44 0 0 0 0 	文字数 808 0 855 0 0 0 0	% 100 0 7.2 0 0 0
ja M: 177- +	→ en サンプルTM (ル. Rozetta Phraseとは.d) 全て 繰り返し 101% 100% 95%-99% 85%-94% 75%-84% 50%-74%	ocx セグメント数 22 0 0 2 0 0 0 1	枚数 0.46 0	ワード数 613 0 0 44 0 0 0 0 0 20	文字数 808 0 855 0 0 32	% 100 0 7.2 0 0 0 3.3

ヒント:翻訳メモリとの一致率の定義については「一致率の定義」を参照します。

ヒント:解析結果を画面右端に表示されるボタンから CSV 形式でダウンロードすることができます。

ダウンロードした CSV ファイルがエクセルで上手く開けない場合は、以下の手順に従ってください。

(A) CSV をエクセルで開き、A 列(列全体)を選択します。

(B)「データ」→「区切り位置」をクリックします。

(C) ウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックします。

(E) 2 つ目のウィザードで区切り文字に「セミコロン」をチェックした後、「完了」をクリックすると「;」で区 切った表示になります。

区切り位置指定ウィザード - 2	2/3			? ×
フィールドの区切り文字を指定	ミしてください。 [データのプレビュ	-] ボックスには区切り位置	が表示されます。	
区切り文字 ✓ タブ(I) ✓ セミコロン(<u>M</u>) □ コンマ(<u>C</u>) □ スペース(<u>S</u>) □ その他(<u>O</u>): データのプレビュー(<u>P</u>)	□ 連続した区切り文字 文字列の引用符(Q):	は 1 文字として扱う(<u>R</u>) "		
.docx ja>en 0	ging Errors Chars/Word 1.32	Context Match Segments Words D D	Placeables Percent 0 0	Repet Segme O
			_	
	キャンセル	< 戻る(<u>B</u>)	次へ(<u>N</u>) >	完了(<u>E</u>)

■ 一致率の定義

翻訳メモリとの一致率は以下の定義に従って計算されています。

- 繰り返し 1 つのジョブの中での繰り返しのセグメント数
- 101% コンテキスト(前後のセグメント)も含む、翻訳メモリに対する完全一致
- **100%** 翻訳メモリに対して完全一致
- 95%-99% 翻訳メモリに対する一致率 95%-99%
- 85%-94% 翻訳メモリに対する一致率 85%-94%
- 75%-84% 翻訳メモリに対する一致率 75%-84%
- 50%-74% 翻訳メモリに対する一致率 50%-74%
- 0%-49% 翻訳メモリに対する一致率 0%-49%

注:上記のルールに加え、「繰り返し」に関する例外ルールがあります。「繰り返し」は、基本、翻訳メモリ に対する一致率とは別にカウントされますが、例外的に一致率が 101%と 100%のセグメントは、繰り返 しから除外され、101%、100%にのみカウントされます。

9.一括翻訳

翻訳作業の依頼前に、ジョブに対して各種の一括処理を行うことができます。「一括翻訳」は以下のサブ メニューを含みます。

- 空欄箇所を一括翻訳(「空欄箇所を一括翻訳」参照)
- 空欄箇所を人為翻訳する(Gengoのサービスに翻訳を依頼します(有償))
- ・ 訳文の空欄箇所に原文をコピー(空欄の訳文セグメントに原文のセグメントをコピーします)
- 空欄箇所を疑似翻訳(「疑似翻訳」参照)
- 全ての訳文を削除(選択したファイルを対象に全ての訳文セグメントを削除します。)

注:この操作はキャンセルできません。

■ 空欄箇所を一括翻訳

「空欄箇所を一括翻訳」は Rozetta Phrase 内で3箇所に設定があります。

- 管理者または制限のない PM により設定された設定メニューのオプション。全ての新しいプロジェクトは この設定がデフォルトです(チーム版以上は疑似翻訳を含む)。
- プロジェクト設定
- プロジェクト画面でジョブを選択して「一括翻訳」を押下時の画面

一括翻訳オプション

設定 / 一括翻訳
(2)211 (2)2
 ✓ 翻訳メモリを使って一括翻訳 一括翻訳のしきい値 100 %
翻訳不要箇所
☑ 翻訳不要箇所を一括翻訳
☑ Phrase CATエディタで翻訳不要箇所を表示 機械翻訳
☑ 機械翻訳を使って一括翻訳
☑ Phrase CATエディタで品質推定済機械翻訳一致を表示
上書き
□ 訳文セグメントの既存の翻訳を上書き
繰り返し
☑ 繰り返しの自動入力
□ ロック済の繰り返しの自動入力
セグメントステータスを確定済に設定
✓ 101% 翻訳メモリの一致
□ 100% 翻訳メモリの一致
□ 100% 翻訳不要箇所の一致
□ 100%機械翻訳の一致
✓ 繰り返し
一括翻訳・ジョブを完了済に設定
☑ ジョブ作成時に一括翻訳
□ 一括翻訳終了後、ジョブを完了済に設定
✓ 一括翻訳が完了し、すべてのセグメントが確定済となる場合、ジョブを完了済に設定する
□ すべてのジョブの一括翻訳終了後、プロジェクトを完了済に設定
ロック
✓ 101% 翻訳メモリの一致
□ 100% 翻訳メモリの一致
□ 100% 翻訳不要箇所の一致
□ 100%機械翻訳の一致
□ 後続の繰り返し

翻訳メモリを使って一括翻	訳文が空欄のセグメントに翻訳メモリと一致した訳文を挿入します。 一括翻
訳	訳のしきい値に、挿入されるための最低限の一致率を指定します。
翻訳不要箇所を一括翻訳	翻訳不要箇所(文字ではないテキストで構成)の訳文セグメントに原文を
	コピーします。
機械翻訳を使って一括翻	翻訳メモリに一致したものがない場合、機械翻訳エンジンから取得した訳文
訳	を挿入します。
繰り返しの自動入力	繰り返し自動入力の有効/無効を設定できます。
セグメントステータスを確定	チェックを入れたものを対象に「確定済」に設定します。
済に設定	• 101% 翻訳メモリの一致
	 100% 翻訳メモリの一致
	 100% 翻訳不要箇所の一致
	• 100% 機械翻訳の一致
	 繰り返し
一括翻訳・ジョブを完了に	機械翻訳のみ対象。サブミッターポータルで作成されたプロジェクトに使用で
設定	きます。クライアントが送信したファイルは自動的に機械翻訳(有効にされて
	いる場は NT の結果も含む)され、クライアントに返信されます。
	• ジョブ作成時に一括翻訳 設定メニューまたはプロジェクト設定のみで
	有効なオプションです。
	• 一括翻訳終了後、ジョブを完了に設定
	 すべてのジョブの一括翻訳終了後、プロジェクトを完了に設定
	 一括翻訳が完了し、すべてのセグメントが確定済となる場合、ジョブ
	を完了済に設定する
	• すべてのジョブの一括翻訳終了後、プロジェクトを完了済に設定
ロック	チェックを入れたものを対象にロックします。
	• 101% 翻訳メモリの一致
	 100% 翻訳メモリの一致
	 100% 翻訳不要箇所の一致
	• 100% 機械翻訳の一致

■ 一括翻訳のベストプラクティス

Rozetta Phrase では、T-4OO/T-3MT エンジンによる機械翻訳を常に実行することを前提に、 翻訳メモリを使った「一括翻訳のしきい値」を「100%」にデフォルト設定しています。100-101%マッ チに限って TM から訳文を適用することによって、ニューラル機械翻訳(NMT)に特有の「訳ゆれ」を克 服し、より良い翻訳結果が得られる場合が多いことを確認しています。それぞれのニーズに従って、このしき い値をご自身で調整していただくことも可能です。

■ 一括翻訳の実行

一括翻訳を実行するには次の手順に従います。

(1) 実行したいジョブがあるプロジェクト画面に移動します。対象のファイル名にチェックを入れ、「一括翻 訳」→「空欄箇所を一括翻訳」を押下します。

ジョブ 🔺	翻訳	新規作成 編集 ダウンロード 解析する	ー括翻訳 ツール 削除
			空欄箇所を一括翻訳…
2 # 🔺	確定済	ファイル	空欄箇所を人為翻訳する… 訳文の空欄箇所に原文をコピー
1	0%	w Rozetta Phraseとは.docx …	空欄箇所を擬似翻訳
			全ての訳文を削除

(2) 一括翻訳オプション画面上で設定を確認し、「一括翻訳」を押下します。

■ 疑似翻訳

疑似翻訳機能を使用して、Rozetta Phrase に原文ファイルが正しく読み込まれ、エディタで翻訳作業 を実施したファイルが想定した通りのフォーマットで訳文ファイルとしてダウンロード可能であるかをシミュレー ションできます。

注:本機能はチーム版以上のみで利用可能です。

疑似翻訳オプション

以下のオプションを使用して疑似翻訳を実行できます。

- 擬似翻訳に使用する文字:設定した文字が疑似翻訳に使われます。
- 原文テキストとあわせる: チェックを入れると、原文と疑似翻訳文字が混合されます。設定値が'\$'の場合、'Test'は 'T\$e\$s\$t\$'です。
- 訳文セグメントの先頭に追加: 設定値が 'aa'の場合、'Test' は 'aaT\$e\$s\$t\$'です。
- 訳文セグメントの末尾に追加: 設定値が'bb'の場合、'Test'は'T\$e\$s\$t\$bb'です。
- 原文に対する訳文セグメントの長さ(%):疑似翻訳を含めた訳文の長さ(%)。設定値が100の場合、'Test'は 'T\$e\$'。ただし始まりの文字と終わりの文字は除外されます ('aaT\$e\$bb')。

■ 疑似翻訳の実行

疑似翻訳を実行するには次の手順に従います。

(1) 実行したいジョブがあるプロジェクト画面に移動します。対象のファイル名にチェックを入れ、「一括翻訳」

→「**空欄箇所を疑似翻訳**」を押下します。

ジョ	ブー	翻訳	新規作成 編集 ダウンロード 解析する	ー括翻訳 ツール 削除
	# 🔺	確定済	ファイル	空欄箇所を一括翻訳… 空欄箇所を人為翻訳する… 訳文の空欄箇所に原文をコピー
	1	0%	w Rozetta Phraseとは.docx …	空欄箇所を擬似翻訳
				全ての訳文を削除

(2)「疑似翻訳」のオプション設定画面上で設定を確認し、「疑似翻訳」を押下します。

擬似翻訳 × 擬似翻訳に使用する文字 \$ 原文テキストとあわせる < 訳文セグメントの先頭に追加 aa 訳文セグメントの末尾に追加 bb 文字変換する セグメントキーのハッシュ長 0 ~ (文字数) 原文に対する訳文セグメントの 100 ~ 長さ(%) 擬似翻訳

ヒント:各種オプションについては「疑似翻訳オプション」を参照ください。

(3) 疑似翻訳が完了したら、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」から、訳文完成ファイルをダウンロード します。

ジョブ 🔺	翻訳 ~ 新規	見作成編集	ダウンロード 解析	ita
			オリジナルファイル	
☑ # 🔺	確定済 ファイル		バイリンガルMXLIFF	-
	0% 😡 Rozet	tta Phraseとは.do	– DOCX – TMX	
			訳文完成ファイル	
			最終ファイル	

(4) 翻訳対象箇所のみが、疑似翻訳されていることを確認します。

aaR\$o\$z\$e\$t\$t\$a\$∙P\$bb⇔	
aa 『R\$0\$z\$e\$t\$t\$a\$ P\$h\$r\$a\$s\$e\$』は\$、ロ\$ゼ\$ッ\$彡	\$の\$超
\$絶\$カ\$ス\$タ\$マ\$イ\$ <u>ズ</u> \$翻\$訳\$「T\$-3M\$Tbb·aaT\$-3	M\$T\$で
\$自\$動\$生\$成\$し\$た\$翻\$訳\$エ\$ン\$ジ\$ン\$と\$P\$h\$r\$a	\$s\$e\$を
\$A-bb↓	
aa「P\$h\$r\$a\$s\$e\$」は\$I\$S\$O\$27001 認\$証\$取\$得\$済	\$み\$に
\$加\$え\$、G\$bb·aa「T\$-3M\$T\$」A\$P\$I\$も\$ロ\$セ\$ッ	\$タ\$の
\$セ\$キ\$ュ\$ア\$な\$環\$境\$で\$管\$理\$さ\$れ\$て bbe	
aa『T\$-3M\$T\$』と\$『P\$hbb	¢

- ヒント:画像や埋め込み部分など翻訳対象外の箇所は、原文ファイルと全く同じになります。
- (5) 訳文ファイルに問題なければ、翻訳作業を開始するため、「一括翻訳」→「全ての訳文を削除」を実施して疑似翻訳を削除します。

■ ロックとロック解除

ロックしたセグメントは翻訳対象外となり、翻訳者は編集できません。ロックおよびロックの解除の設定は翻訳者が実施することはできません。

注: ロックとロック解除は翻訳作業の実施前に実行してください。

対象セグメントをロックまたはロック解除するには以下の手順に従います。

(1) ファイル名をクリックすると別タブで Web エディタが開きます。

ヒント: Desktop エディタも利用できます。詳細は『Rozetta Phrase 基本操作マニュアル~CAT Editor 編~』を参照します。

ジョ	ゴー	翻訳 ~	, 新規作成	編集	ダウンロード	解析する	一括翻訳	ツール 削除	
	# 🔺	確定済	ファイル				ステータス	訳文	プロバイダ
	1	0%	Rozetta Phra	aseとは.do	OCX ***		メール済	en	

(2) ロックしたいセグメントを選択し、「**Ctrl + L**」と入力します。ロックされたセグメントはグレーアウトされ、 鍵アイコンが表示されます。

Ŕ	Percetta Physics CAT web editor Edit ▼ Tools ▼ Format ▼	Document 👻 Help 💌			
В	$I \ \underline{U} \ X_2 \ X^2 \ \bigstar \ \bigstar \ \checkmark \ Split \ Join \ \bigcirc \ \bigstar \ \bigstar \ \checkmark \ AJB$				
·	Filter source text	Filter target text	1/2		Clear filter
#	Source: ja	Target: en			<u> </u>
1	Rozetta Phraseとは?	What is Rozetta Phrase?	×	100	
2	『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶カスタマイズ翻訳「T-3MT」 と、翻訳管理システム「Phrase」を統合したサービスです。	Rozetta Phrase is a service that integrates <u>Rozetta's</u> superior custom machine translation engine, T-3MT, with the industry standard translation management system, Phrase.	×	100	PD

ヒント: すでにロックされているセグメントを選択し、Ctrl + Lと入力するとロックが解除されます。

10. ファイル分割

この機能は単一ファイルが複数の翻訳者により作業される必要がある場合に便利です。各翻訳者は翻 訳のための仮想的なファイルを取得することになります。ファイル分割は訳文ファイルに影響を与えません。 全てのワークフローステップに対してファイル分割機能を使用できます(このオプションはすでにファイルが分 割されている場合は有効ではありません)。

注:ファイル分割は翻訳者(プロバイダ)のアサイン前に実行してください。

ファイル分割オプション

分割には4つのオプションがあります。

- 指定のジョブ数に等分割
- 指定のセグメント数ごとに分割
- 指定のセグメントの後で分割*
- 指定のワード数ごとに分割

*Web エディタを起動し、「指定のセグメント」を確認します。

分割したファイルをエディタ上で結合して表示したい場合、結合ファイルを使用します。

結合ファイルの使用方法

Desktop エディタの場合:

対象ファイルにチェックを入れ、「ダウンロード」→「バイリンガル MXLIFF」を選択します。

ジ	ヨブ 🔺	翻訳 🗸	新規作成	編集	ダウンロード	解析する	一指
					オリジナルファ	アイル	_
	# 🔺	確定済	ファイル		バイリンガル	//XLIFF	7 7
	1.1	0%	Rozetta Phra	seとは.do	– DOCX – TMX		戓
	1.2	0%	Rozetta Phra	seとは.do	訳文完成ファ-	TIL	戉
	1.3	0%	Rozetta Phra	seとは.do	最終ファイル		戊

「結合ファイル」を選択し、「ダウンロード」をクリックします。

バイリンガル:	ファイルをダウンロー.	. ×
ファイル形式	MXLIFF	e
結合ファイル	0	
Zip ファイル	0	
	ダウンロー	-ド

Web エディタの場合:

結合対象のファイルにチェックを入れ、そのうちひとつをクリックします。ファイルの結合を実施した場合、ジョブの各名称は以下のように表示されます。

#	Source: ja	Target: en			
Jol	#1.1 Rozetta Phraseとは.docx				
1	Rozetta Phraseとは?	What is Rozetta Phrase?	×	100	8 ₽0
2	『Rozetta Phrase』は、ロゼッタの超絶力スタマイズ翻訳「T-3MT」 と、翻訳管理システム「Phrase」を統合したサービスです。	Rozetta Phrase is a service that integrates <u>Rozetta's</u> superior custom machine translation engine, T-3MT, with the industry standard translation management system, Phrase.	×	100	PD
3	T-3MTで自動生成した翻訳エンジンとPhraseをAPI連携。日翻訳の 工程を劇的に効率化します。	Integrating these two leading products via an API dramatically streamlines the translation process.	×	99	Po
4	「Phrase」(JISO27001認証取得済みに加え、GDPR (EU一般データ 保護規則)に準拠。	[Phrase] complies with GDPR (EU General Data Protection Regulation) in addition to ISO27001 certification.	×	мт	PO
5	「T-3MTJAPIもロゼッタのセキュアな環境で管理されており、翻訳 データ二次利用等のリスクもありません。	[T-3MT] The API is also managed in a Rosetta secure environment, and there is no risk of secondary use of translation data.	×	МТ	PD
6	『T-3MT』と『Phrase』	[T-3MT] and [Phrase]	×	MT	PO
7	ロゼッタ T-3MT は、企業が蓄積した過去の翻訳メモリ(TM)からカ スタムモデルを自動生成する、新時代のAI翻訳です。	Rosetta T-3MT is a new era AI translation that automatically generates a custom model from the past translation memory (TM) accumulated by the company.	×	МТ	P0
8	微妙な表現まで忠実に過去訳を再現するT-3MTを、翻訳業界で高 い評価を受ける Phrase 翻訳ブラットフォームに連携。	T-3MT, which faithfully reproduces past translations to delicate expressions, is linked to the Phrase translation platform, which is highly regarded by the translation industry.	×	МТ	PD
Jol	#1.2 Rozetta Phraseとは.docx				
9	両者の強みを活かして翻訳工程を最適化し、取扱説明書など大量 ドキュメントの翻訳を飛躍的に効率化します。	We optimize the translation process by taking advantage of the strengths of both parties, and dramatically improve the efficiency of translation of a large volume of documents such as instruction manuals.	×	MT	20
10	またPhrase上に蓄積された翻訳メモリをT-3MTで追加学習させる ことで、更に翻訳精度を向上。	In addition, the translation accuracy is further improved by having the translation memory accumulated on Phrase learned additionally by T-3MT.	×	МТ	PD
11	従来のTM管理を超えた、AI 機能による超絶ドキュメント翻訳ソリュ ーションを提供します。	Provides a super-extreme document translation solution with Al functionality that goes beyond traditional TM management.	×	MT	PD

■ ファイル分割の実行

ファイルを分割するには以下の手順に従います。

(1) 分割対象のファイル(1 ファイルのみ)にチェックを入れ、「ツール」→「ファイル分割」をクリックします。

ジョブ 🔺	翻訳 マ 新規作成 編集 ダウ	ンロード 解析する 一括翻訳 ツール 削除
✓ # ▲	確定済 ファイル	ステータス ワークフローの変更履歴をエクスポート
1	0% 🚽 Rozetta Phraseとは.docx …	メール済 用語を抽出
		原文の更新 訳文の更新
解析	編集 西解析 削除 ダウンロード	アップロード テンプレートからプロバイダを割り当てる

(2) 分割オプションを選択し、「ファイル分割」をクリックします。

注:この操作はキャンセルできません。オプションに間違いがないか実行前に確認します。

ファイル分割				×
合計セグメント数:	22			
ファイル分割:	指定のジョブ数に等分割	~	3	
同じ文字数で3ファ	指定のジョブ数に等分割 指定のセグメント数ごとに分割		ください。	
☑ すべてのワーク	指定のセグメントの後で分割 指定のワード数ごとに分割			
			ファイル分	割

- (3) 分割後、疑似翻訳を実行し、訳文完成ファイルに問題がないことを確認します。
- (4) 分割後のファイルを翻訳者にアサインします。

ヒント: 複数ファイルを対象にして同じ翻訳者にアサインできます。

(5) 翻訳完了後、分割した複数のファイル名を選択し、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」をクリック します。

■ 翻訳者へメール送信

ジョブに翻訳者(プロバイダ)をアサインし、案件打診メールを送信します。ファイルのアップロード時にメール送信済みの場合、ご自身で翻訳を進められる場合は、この操作は不要です。

(1) 複数のワークフローがある場合、メール送信を実行したいステップが表示されているかを確認します。

ジョブ	削除	
-----	----	--

(2)対象のファイル名にチェックを入れ、「編集」を押下します。

ジョ	ゴ 🔺	翻訳	~ 新規作成	編集	ヴンロード	解析する	一括翻訳	ツール	削除
	# 🔺	確定済	ファイル			ステータス	訳文	プロバイダ	納期
	1	0%	w Rozetta Phra	aseとは.docx		新規作成	en		

(3) 翻訳者、納期を選択したら「保存」ボタンを押下します。

プロジェク	ト / サンプルプロジェクト / Rozetta P	Phraseとは.docx
プロバイ ダ フテータ	Rozetta Demo 5	
スが明	2023-02-24 18:00	
ן אינג דיוי	R	

(4)保存が完了するとプロジェクト画面に戻るので、「ツール」→「Eメール」をクリックします。

ジョブ 🔺	翻訳 ~	新規作成 編集 ダウンロード	解析する 一括翻訳	ツール 削除
				Eメール
v # 🔺	確定済	ファイル	ステータス	ファイル分割… ワークフローの変更履歴をエクスポート
2 1	0%	w) Rozetta Phraseとは.docx …	新規作成	用語を抽出 原文の更新 訳文の更新
解析	編集 再解析	削除 ダウンロード		アップロード テンプレートからプロバイダを割り当てる

(5) テンプレートを選択し、「メールを送信」を押下します。

Eメール		×
ユーザーテン プレート:	新規案件(en)	~
宛先:	$V_{ij}(x_{ij}) = V_{ij}(x_{ij}) = V_{ij}(x_{ij})$	
Cc:		
Bcc:		
件名:	新規案件	
メール本文:	{linguist.firstName}様	*
	新規案件のご依頼です。	
	{jobInfo}	
	言語: {job.sourceLang}->{job.targetLang}	
	納期:{job.dateDue} {/jobInfo}	+
		11

(6) 翻訳者は、受信メール内のリンクから該当プロジェクトにアクセス可能です。

ヒント:設定メニューから、メールテンプレートの編集・追加が可能です。

ヒント:翻訳者のパスワードリセット方法については、「ログイン情報をメールする」を参照します。

11. 翻訳作業の確認

翻訳者から作業完了の通知を受けた PM は、作業に問題がないかを確認し、最終納品物を作成します。

■ 訳文完成ファイルダウンロード

訳文完成ファイル(元原稿と同じフォーマットで訳文に差替えられたもの)をダウンロードするには、対象 ジョブを選択し、「ダウンロード」→「訳文完成ファイル」を実行します。

ジョブ	校正	~	新規作成 編集	ダウンロード 解析する	5 一括翻訳
				オリジナルファイル	
7 # 4		確定済	ファイル	バイリンガルMXLIFF	ステータス
2 1		100%	w Rozetta Phraseとは.dc	– DOCX – TMX	完了済
			(訳文完成ファイル	

ヒント:実行時エラーの原因については、表示されるメッセージを確認します。よくあるエラーの原因として、 Excel ファイルの制限違反(例:シート名の翻訳に「/」などの禁止文字が含まれている)や、訳文と原 文でタグの数や順序が一致しないことなどがあります。

ヒント:元原稿によっては、訳文完成ファイル上でのレイアウト調整などが必要な場合があります。

■ 変更履歴をエクスポート

プロジェクトにワークフローステップが設定されている場合、各ステップの変更履歴を一覧表示し、ファイルに エクスポートすることができます。

対象ジョブを選択し、「**ツール**」→「**ワークフローの変更履歴をエクスポート**」で変更履歴を表示し、 HTML 形式でファイルに保存します。

ジョブ 🔺	校正 > 新規作成 編集 ダウンロード	解析する 一括翻訳 ツール 削除
✓ # ▲	確定済 ファイル	Eメール ステータス ファイル分割
1	100% w Rozetta Phraseとは.docx	完了済 用語を抽出 原文の更新
解析	編集 再解析 削除 ダウンロード	アップロード テンプレートからプロバイダを割り当てる

ヒント: エクスポートファイルは HTML 形式のみがサポート対象です。

12. 高度なプロジェクト設定

■ プロジェクト・ジョブ共有機能

Rozetta Phrase または Phrase TMS ユーザー同士であれば、別の組織に属していても、プロジェクト 共有機能を利用して共同して作業を行うことができます。バイヤー(依頼側)はチーム版以上、ベンダー (受注側・実際に翻訳を行う側)はチーム・スタート版以上です。

プロジェクト共有

プロジェクト共有を行うには、以下の手順に従います。

(1) バイヤーは、ベンダーに、ベンダートークン番号の連携を依頼します。ベンダートークン番号は、設定メニュー画面の上部、組織の下に表示されています。

設定	
ツール アーカイブ済みプロジェクト	
<u>ごみ箱</u> 組織	
名称: Rozetta Corp. ベンダートークン: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)

(2) バイヤーは、ベンダートークン番号を使用してベンダー登録を行います。「設定メニュー」→「管理」→ 「ベンダー」で「新規作成」をクリックし、ベンダートークンを入力します。

設定 / ベンダー	
新規作成	
設定 / ベンダー / 作成	
xyy=F=05	
ヘンタートークン 名称	
ペンタートークン 名称 課金率ルール	~

ヒント:ベンダートークン以外の情報は空白のままでも保存できます。

(3) ベンダーと共有したいプロジェクトに移動し、右上の「共有する」→「ベンダーと共有」をクリックします。

∕ 編集	3 名前を付けて保存	< 共有する	◎ 削除	$) \bigcirc$
		ベンダーと共	有	
		バイヤーに転	送…	

ヒント:ベンダーからプロジェクトを共有するには、「バイヤーに転送」を選択します。

(4) 共有先のベンダーを選択する画面で、ベンダーを選択し、「保存」をクリックします。

プロジェクト / サンプルプロジェクト / /	ベンダーと共有
ゴロジェクト サンブルプロジェクト	
保存	

ヒント: 共有済みのプロジェクトを選択している場合、ここで空白を選択して保存すると共有が停止 されます。プロジェクト共有の停止はバイヤー側が実施します。 (5) 共有されたプロジェクトは左上のアイコンの表示が以下のようになります。

サンプルプロジェクト		
# 226	原文言語	ja
名称 サンプルプロジェクト	訳文言語	en

プロジェクトを共有していても、お互いの翻訳者名は相手に見えません。相手側の翻訳者が紐づけられている場合、以下のように表示されます。また、一括で相手の翻訳メモリ・用語集をダウンロードすることはできません。

<i>S</i> :	ョブ 🔺	翻訳 ~	 新規作成 編集 ダウンロード 解析する 	一括翻訳 ツール	削除		
	# 🔺	確定済	ファイル	ステータス	訳文	プロバイダ	約期
	1.1	0%	Rozetta Phrase & Lt. docx …	新規作成	en	Rozetta Corp. により割り当て済	2/17 18:00
	1.2	0%	w Rozetta Phraseとは.docx …	新規作成	en	Rozetta Corp. により割り当て済	2/17 18:00
	1.3	0%	Rozetta Phrase 213. docx	新規作成	en	Rozetta Corp. により割り当て済	2/17 18:00

書き込み用翻訳メモリ・用語集は、バイヤー側も、ベンダー側も、設定することができます。今回のプロジェクト内で蓄積される翻訳メモリ・用語集は、両者が所有することができます。

ジョブ共有

ジョブ単位で共有する場合は、翻訳者(プロバイダ)をジョブにアサインする方法と同じです。ひとつのプロ ジェクトを複数のベンダー・翻訳者に割り当てる場合、こちらをご利用ください。

リンギストとして、ベンダーを選択し、納期を設定したら「保存」をクリックします。

ロジェク	ット / サンプルプロジェクト / Rozett	ta Phraseとは.doo
プロバイ ダ	Rozetta Corp.	
ステータ ス	新規作成	~
納期	2023-02-17 18:00	
	保存	

ヒント: ベンダーは、割り当てられたジョブ以外見ることはできません。その他の点は、プロジェクト共有と同様です。ベンダー側で翻訳メモリ・用語集を設定できます。またベンダー側の翻訳者に依頼できます。

■ プロジェクトの自動作成

<u>オンラインストレージサービスと連携</u>させると、Rozetta Phrase が指定したフォルダを定期的に確認し、新 しいファイルがあれば自動でプロジェクトを作成する「プロジェクトの自動作成」機能をご利用いただけます。 対象エディションはチーム版以上となります。

プロジェクトの自動作成機能を使用するには、Rozetta Phrase 上に<u>コネクター</u>とサービスが最低1つ設定されている必要があります。

プロジェクトの自動作成機能を設定するには以下の手順に従います。

※新バージョンの UI ではなく従来バージョンの UI で説明します。 2023 年 3 月現在、 両者の機能 はほぼ同等です。 新バージョンが表示されている場合は、 画面右上の「従来バージョンに戻る」をクリッ クしてください。

- (1) 設定メニューから、「自動化」の下の「プロジェクトの自動作成」を選択し、「新規作成」をクリックしま す。
- (2) 任意の名称を入力し、「接続先のフォルダ」から連携しているオンラインストレージサービスを選び、ジョブを検出する対象フォルダを選択します。
- (3)「アップロード用サブフォルダ」に任意の名称を入力します。こちらは上記で選択したフォルダの中に 自動的に作成され、Rozetta Phrase で処理中のファイルが保存されます。これにより自動で処理 が進んでも原文ファイルと混同することがありません。 このオプションが無効で、プロジェクト設定で「ファイル名の変更」が設定されていない場合、元のファイ ルが訳文ファイルで上書きされる可能性があるので注意してください。
- (4)「保存先サブフォルダのパス」フィールドに、保存先サブフォルダの名称を指定します。この項目はコネ クターが以下のいずれかの場合のみ表示されます。Azure, FTP, SFTP, Dropbox, Google Drive, Box, OneDrive, Git, GitHub, GitLab, Bitbucket Cloud
- (5)「確認頻度」で新規ファイルの有無を確認する頻度を設定します。

(6)「サービス」で該当するサービスを選択します。

定 / プロジェクトの自	動作成/作成	ς ΰ	ſ
	新山	いい2に切り替える	
名称	Project X		
アクティブ 継続プロジェクトとして実行			
接続先のフォルダ	Google Drive Connector:/ 接続先のフォルダを選択		
リモートファイル	名称 容量 最終更新日		
作業後のファイルを指定のフ ォルダに移動	0つのファイルが選択されました 2		
アップロード用サブフォルダ	processed		
保存先サブフォルダのパス ファイル名のパターン (正規表 現)	正規表現の検証		
確認頻度	○日1 × 毎月の 00:00 × ○ ○ つ 日 × 開始時刻: 10:00 ×		
	● 項 1 · mplugg . 1000 · ○ 毎 1 · 時間		
サービス	 プロフェッショナル翻訳 (USD) ▼		

(7)「プロジェクト初期設定」セクションで、原文言語と訳文言語を選択し、必要に応じデフォルトのプロ ジェクトタイトルの変更、デフォルトのプロジェクトオーナーの選択、電子メールテンプレートの設定を行 います。

● プロジェクト初期設定	
[継続プロジェクトとして実行]	を有効化している場合、この変更を保存すると、今後継続的に使用される新規プロジェクトが作成されます。
原文言語	日本語・
訳文言語	検索 英語 (アメリカ) 英語 (イギリス) 中国語 (簡体字) 中国語 (繁体字)
プロジェクト名	自動作成プロジェクト {order.number} {order.email}
プロジェクトオーナー	Rozetta Demo 🗸
● メールテンプレート	

ヒント: デフォルトのプロジェクトタイトルに使用可能なマクロは以下を参照します(Phrase 社の英 文ヘルプ記事)。

https://support.phrase.com/hc/en-us/articles/5709720465948-Macros-TMS-

(8) 設定を保存すると、有効になっているプロジェクトの自動作成ルールが確認できます。ステータスは接続の状況、最後の確認と次の確認はそれぞれフォルダを最後に確認した時間と次に確認する時間 を示します。

設定/プロジェクトの自動作成							
新規作成 今すぐ確認する インボート	を強制 削除						
名称 🔺	タイプ	ステー タス	最後の確認	次の確認			
Project X	Google Drive	~	2023-02-17 16:23 JST	2023-02-17 19:00 JST			

(9) プロジェクトのステータスが「完了」に変更されると、翻訳済みファイルが上記で設定したサブフォルダに 保存されます。プロジェクトテンプレートの解析の設定や電子メールテンプレートの設定と組み合わせ ることにより、解析、仮翻訳、翻訳者(プロバイダ)へのアサイン、メール通知などの多くの工程を自 動化できます。

13. 付録

■ QA チェック項目一覧

項目名 項目名(英語)		説明	即時 QA	既定
言語	Linguistic	言語に関するすべての QA 項目を	選択	
スペルチェック	Spelling	スペルミスの可能性	Yes	
先頭と末尾のスペース	Leading and	先頭、末尾にスペースがある	Yes	Yes
	trailing spaces			
原文にない数字の追加	Extra numbers in	原文にあるものより多く数字が訳	Yes	Yes
	target	文に存在する		
数値の不一致	Missing numbers	原文と訳文で数値が異なる。全	Yes	Yes
		角対応		
		※漢数字・ローマ数字などは検		
		出しません。		
未編集の NT / MT あ	Unedited NT/MT	あいまい一致の NT/MT が編集	No	
いまい一致	fuzzy match	されずに確定している		
未編集の TM あいまい	Unedited TM fuzzy	あいまい一致の TM が編集され	No	
一致	match	ずに確定している		
末尾の句読点	Trailing	原文と訳文で句読点(ピリオド、	Yes	Yes
	punctuation	コンマ、クエスチョンマーク)の数が		
		異なる		
		※日本語の句読点には対応し		
		ていません。		
繰り返し	Repeated words	同じ単語が繰り返されている	Yes	Yes
訳ブレ	Inconsistent	同じ原文に対する訳が異なる、	Yes	
	translations	または同じ訳文に対して異なる		
		原文		
訳文が原文と同一	Target text	訳文と原文が同一	Yes	
	identical with			
	source one			
訳文の最大セグメント	Maximum target	原文に対する訳文の長さ制限を	Yes	
長(原文に対する割	segment length	行う		
合)	in % of source			
訳文の最大セグメント	Maximum target	訳文の文字数制限を行う	Yes	

長 (文字換算)	segment length in			
	characters			
訳漏れ	Empty target	訳文欄が空欄	Yes	
連続したスペース	Multiple spaces	複数スペースがある	Yes	Yes
用語	Terminology	用語に関するすべての QA 項目を	選択	1
次を許可しない	Forbidden terms	禁止用語の設定(用語集では	Yes	Yes
		なく直接入力可能)		
用語の欠落	Missing terms	原文にある用語が訳文で欠落し	Yes	Yes
		ている		
禁止されている用語	Not allowed	訳文に禁止用語が含まれる	Yes	Yes
書式とタグ	Formatting and	書式とタグに関するすべての QA	項目を選択	
	tags			
XLIFF タグ	XLIFF tags	ペアになっている XLIFF タグの順	Yes	
		序が正しくない		
タグ & 書式	Tags & formatting	原文と訳文でタグと書式が不一	Yes	
タグ - 結合されたセグ	Tags-joined	セグメントを結合したあと、訳文の	Yes	
メント	segments	結合タグが削除されている※結		
		合タグが削除されることが原因で		
		変換エラーが起こる場合がありま		
		す。		
タグ内容の不一致	Inconsistent tag	原文と訳文でタグの内容が合っ	Yes	
	content	ていない		
		※タグ編集は、XML, HTML,		
		XLIFF ファイルでのみ有効です。		
タグ間のテキスト未挿入	No text between	原文ではタグの間にテキストがあ	Yes	
	the tags	るが、訳文ではない		
入れ子のタグ	Nested tags	タグが入れ子になっている	Yes	
空タグ	Empty tag content	タグの中にコンテンツがない	Yes	
		※タグ編集は、XML, HTML,		
		XLIFF ファイルでのみ有効です。		
ワークフロー	Workflow	ワークフローに関するすべての QA	項目を選択	
未確定セグメント	Not confirmed	セグメントが確定されていない	Yes	
	segments			
未解決のコメント	Unresolved	コメントが解決されていない	Yes	
	comment			

直前のワークフローステ	Newer version in a	先行するワークフローに更新され	Yes	
ップに新しいバージョン	preceding	たセグメントがある		
あり	workflow step			
	available			
カスタムチェック	Custom checks	詳細は、「QA チェック正規表現	Yes	
		の設定」をご覧ください。		
その他のオプション	Other options			
QA チェックでロック済セ	Exclude locked	ロックされたセグメントは QA チェッ		
グメントを除外	segments from QA	クから除外		
ジョブ作成中に設定され	Max. target length	ファイルアップロード時に設定した		Yes
た訳文の最大長	as set during job	最大値を超えている場合に検出		
	creation			
リンギストが QA 警告を	Linguists may not	翻訳者は QA チェック違反をすべ		
含むジョブのステータス	set jobs with QA	て修正または「無視」するまで、ス		
を完了済に変更すること	warnings to	テータスを「完了」にすることができ		
を許可しない	Completed	ない		
		※翻訳者に QA 実行を必須に		
		する場合はチェックを入れます。		
全てのワークフローステ	Ignore in all	「無視する」項目が他のワークフロ		
ップで無視する	workflow steps	ーステップでも無視される		
非承認用語を無視する	Ignore not	承認されていない用語は違反し		
	approved terms	ていても検出しない		

カスタムチェック(正規表現)の設定

カスタムチェック(正規表現)を使用し、必要なルールに基づいた QA チェックを追加できます。 例えば、数字に対して必ず漢数字が使用されなければならない場合、以下のように設定すると、原文に 数字があるのに訳文に漢数字が使用されていないケースを検出できます。

力	スタムチェック				
	タイトル	原文の正規表現	訳文の正規表現		
	漢数字の使用	[0-9]	[〇一二三四五六七八九]	☑ 即時QA	☑ 無視する

設定した項目名が QA メッセージとして表示されます。

Ru	n job QA 🛛 👻		Hide ignore
#	Туре	Info	Ignore
	Custom checks	漢数字の使用	
1	Not confirmed segment		0

ヒント:「数値の不一致」のチェックが ON の場合、正規表現の設定と矛盾するので、QA で都度検出されます。

■ サブミッターポータル

サブミッターポータルを使用すると、簡単かつセキュアに、Web サイトやイントラネット上に「ファイルアップロード」機能を組み込むことができます。誰でも直接ファイルをアップロードし、生成された見積もり金額を確認後、翻訳依頼用のファイルを提出できます。この際、Rozetta Phrase 上に対応するプロジェクトが自動作成されます。

この機能を利用するには、価格表とサービスが設定されている必要があります。

価格表の設定

- (1) 設定メニューから、「財務機能」の下の「価格表」を選択します。
- (2)「新規作成」ボタンをクリックします。
- (3) 価格表を作成します。名称を入力し、通貨・料金単位を選択、「保存」を押下します。

設定/価格	設定/価格表/作成					
価格表の新	f規作成					
名称	日本円					
通貨	日本円 (JPY)	~				
料金単位	料金単位 文字 イ					
デフォルト	(保存					

(4)「価格表」セクションにある「言語ペアの追加」ボタンで行を追加し、言語を選択して、「追加」ボタン を押下します。

格表	削除 インポート	エクスボート	
日本語	×	英語	×
日本語 (日本) ②	原文言語		

(5) 追加した言語ペアの単価を入力します。

価格表	言語ペアの追加	削除 1	ンポート	エクスポート		
□ 言語ペア					翻訳	校正
\Box ja \rightarrow en		最小金額	10	金額	20	15

サービスの設定

- (1) 設定メニューから、「自動化」の下の「サービス」を選択します。
- (2)「新規作成」ボタンをクリックします。
- (3) 提供するサービスを設定し、「保存」をクリックします。

パブリック名	日英翻訳サービス		
名称	日英翻訳サービス		
サービスの種類	プロフェッショナル翻訳		~
原文言語	日本語		×
	日本語 (日本)	日本語	
訳文言語	苗田		×
	英語 (アイルラント ★ 英語 (アメリカ) 英語 (イギリス) 英語 (イスラエル) ▼	英語	4.
プロジェクトテンプレート	検索		
	Template4E2ML	日英テンプレート	
バイヤー	绘玄		
	Rozetta Corp.	>	
ワークフローステップ	☑ 翻訳		
	☑ 校正□ クライアントレビュー		
ジョブ納期	手動		~
納期スキーム	My Due Date Scheme		~
財務機能	My Due Date Scheme		
/后成	解析と見積ちり		~
	 プロジェクトテンプレートの設定で定義した名前を 		
課金率ルール	My Net Rate Scheme		~
料金単位	文字		~
伝线事	日本田		

ヒント:サービス作成時、ウィジェットに設定したいプロジェクトテンプレート、バイヤーを併せて設定します。

サブミッターポータルの設定方法

- (1) 設定メニューの「自動化」の下の「サブミッターポータル」を選択します。
- (2)「新規作成」ボタンをクリックします。
- (3) サブミッターポータルを設定し、「保存」ボタンをクリックします。

パブリック ウィジェットの URL を無効にする ユーザーにウィジェットの URL へのアクセスを許可す サービス	ි ට 	
ユーザーにウィジェットの URL へのアクセスを許可す サービス	3	
サービス		
	検索	
	プロフェッショナル翻 2 () ()	
自動的にすべての言語を選択		
デフォルトのプロジェクトタイトル	ウィジェットプロジェクト {order.number} {order.e	
ユーザーにプロジェクト名の指定を許可する		
新規提出者へのウィジェットの割り当て		
コネクター	検索	
	Google Drive Connec	
デフォルトのプロジェクトオーナー	Rozetta Demo	
ウィジェットのUI言語	Japanese	
ウェルカム メッセージ	ようこそ!	
>メールテンプレート		

(4) 保存後、サブミッターポータル一覧と URL が表示されます。

ヒント: ウィジェット使用時には、編集画面の URL を相手先に連絡します。

サブミッターポータルを使用すると、お見積り作成時・案件完了時に、Rozetta Phrase システムより依頼者宛 にメールが自動送信されます。このときのメールの文面は、メールテンプレートで編集・追加できます。サブミッター ポータルの編集画面「メールテンプレート」で、メールテンプレートを選択してください。

● メールテンプレ	-ト	
見積もり準備完了	見積もり準備完了 (en)	~
見積もり失敗	見積もり失敗 (en)	~
完了済の作業	完了した作業 (en)	~

フォームの色の設定は、「Iframe 及び外観」で変更できます。色の名前(black, red など)または、数字 (#000000, #FF0000 など)を指定します。

● IFrame及び外観
背景色
第1の色
第2の色
ヘッダーの色

サブミッターポータルの利用方法

翻訳依頼側は、サブミッターポータルの URL を開き、フォーム上で翻訳の言語方向を設定します。サ ブミッターポータルを利用するには以下の手順に従います。

(1)「ファイルをアップロード」ボタンから翻訳対象ファイルを選択または直接ドラッグ&ドロップするか、 「テキストを貼り付け」ボタンから直接テキストを貼りつけます。
(2) 設定に基づき、自動計算された見積もり結果が表示されます。

Rozetta Phrase	Rozetta Corp.にファイルを送信
日本語	▼ > 英語 ×
日英翻訳サービス	•
・ 014.pptx ・ ファイルをアップロード テキストをす す	貼り付け 翻訳対象ファイルをこちらにドロップして追加することもできま
参考資料ファイル (0) -	
概要	
英語	1,194 文字 JPY 41,786.50 合計 JPY 41,786.50

(3) **初回のみ**「認証メール送信」ボタンが表示されます。メールアドレスを入力して同ボタンを押すと、その メールアドレス宛に Rozetta Phrase システムよりメールが送信されます。

demas/metalogi	連絡事項などございましたらこちらにご記入くださ
メールアドレスの認証を行ってください。	C1
21 2月 2023 10:00:00	
発注番号	
発注番号の入力	

(4) 受信したメール内に記載の URL をクリックして認証します。

Phrase		
Hello,		
Thanks for joining Phrase! Please click the link below to confirm your email address.		
 If you weren't expecting this email, you may safely ignore it.		
Verification link:		
https://main.rozetta-phrase.jp/web/verifiedEmailUsers/42b081cf-19f6-4cdd-bef4-		
0b75ac09a8c2&redirectUrl=%2Ftranslate%2Fa6138e26-7554-41c1-97eb-		
cf5b507a42b7		

ヒント: サブミッターポータルの URL を開いたのと同じブラウザを使用します。

(5) 入力したメールアドレスが承認されています。必要に応じて「備考」に連絡事項を入力してください。 見積もりに基づいて翻訳依頼する場合、「送信」ボタンをクリックします。

тон Белійне да ∕ОК		連絡事項などございましたらこちらにご記入くださ		
納期		61		
21 2月 2023 10:00:00				
発注番号				
発注番号の入力				

(6) Rozetta Phrase システムより、前のステップで認証したメールアドレス宛に、下記のようなメールが 送信されます。同時にサブミッターポータルを作成したプロジェクトマネージャー宛に翻訳依頼メールが 送信され、翻訳を受注する側の Rozetta Phrase 上に自動的にプロジェクトが作成されます。

お見積番号2320416 の準備が完了しました。			
Demo Rozetta <system@phrase.com> 宛先 •二 •</system@phrase.com>		∽ 返信	今 全員に返信
全員に返信の開始: 支払い完了しました。 注文しました。 ありがとうございました。 (1) フィードバック			
お客様へ、			
お見積番号 2320416 の準備が完了しました: <u>https://main.rozetta-phrase.jp/web/translate/a6138e26-7554-41c1-</u>	97eb-	cf5b507a42	267
ご質問などございましたら、お問い合わせください。			
よろしくお願いいたします。			

(7) 翻訳受注側は、Rozetta Phrase 上で翻訳プロジェクトを進めてください。プロジェクトが完了し、プロジェクトのステータスが「完了」になったタイミングで、Rozetta Phrase システムから依頼者に作業 完了を通知するメールが送信され、翻訳済みファイルをダウンロードできるようになります。

完了した作業			
Demo Rozetta <system@phrase.com> 宛先 • • •</system@phrase.com>	٢	∽ 返信	今 全員に返信
全員に返信の開始: 確認いたします。) ご対応ありがとうございました。) ありがとうございました。 ① フィードバック			
お客様へ、			
作業が完了し、ダウンロードの準備ができています。 プロジェクト URL: <u>https://main.rozetta-phrase.jp/web/translate/a6138e26-7554-41c1-97eb-cf5b507a42b7</u>			
ご質問などございましたら、お問い合わせください。			
よろしくお願いいたします。			

ヒント:翻訳受注側がプロジェクトのステータスを「完了」→「新規作成」に戻すと、ファイルはダウンロ ードできなくなります。

プロジェクトのバックアップ

翻訳したファイルは、必要に応じてバックアップをとってください。

作成したプロジェクトは作成日から 6 カ月を過ぎると、新規ジョブを作成できなくなります。その後、プロジェ クト作成日から 12 カ月過ぎると削除されます。6 カ月後、下記のようなメッセージがプロジェクトに表示さ れます。

「このプロジェクトは〇〇〇日以内に完全削除されます。保管期間を7カ月延長する」

「延長」をクリックすると、プロジェクトは削除されず、通常どおり新規ジョブが作成できるようになります。こち らの延長手続きは、何度でも繰り返し実施していただけます。なお、翻訳メモリ・用語集は上記の手続き なく、すべて保存されます。

ヒント:削除されたプロジェクトも、削除後30日以内であれば、「ごみ箱」に残っています。すべてのプロジェクトを自動保存されたい場合には、サーバー保管費をお支払いただく必要がございます。

■ オンラインストレージとの連携

Rozetta Phrase を Google Drive や Dropbox などのオンラインストレージサービスと連携させ、 Rozetta Phrase 上のファイルからジョブを作成することができます。

エディション別の連携外部ツールについては以下のページを参照します(Phrase 社の英文ヘルプ記事)。 https://support.phrase.com/hc/en-us/articles/5709656492572-Integrations-TMS-

オンラインストレージとの連携方法

(1)設定メニューから、「インテグレーション」の下にある「コネクター」を選択します。

- (2)「新規作成」ボタンをクリックします。
- (3)コネクターの名称を入力します。

(4)タイプから接続先のサービスを選択し、必要事項を記入し認証(接続)を行います。

設定 / コネクター	/ 作成	
名称	Google Drive Connector	
タイプ	Google Drive	~
保存	Google Driveに接続 未認証	

ヒント:認証の際にポップアップウィンドウが表示されます。ブラウザの設定でポップアップが許可されていることを確認してください。また、コネクターによっては、Rozetta Phraseのカスタムドメイン(main.rozetta-phrase.jp)経由では認証が通らないことがあります。その場合、いったんログアウトしてから、Phrase TMS(<u>https://cloud.memsource.com</u>)のログイン画面でご自身のRozetta Phraseのユーザー名/パスワードを入力して再度ログインし、あらためて認証を試してみてください。

(5)「保存」ボタンをクリックしてコネクターの作成は完了です。

設定 / コネクター	/ 作成	
名称	Google Drive Connector	
タイプ	Google Drive	~
保存	Google Driveに接続 🗸	

オンラインストレージからのジョブ作成

オンラインストレージとの連携が完了すると、Rozetta Phrase 上のファイルから直接ジョブを作成し、翻訳 が完了したら同じフォルダにアップロードできます。

オンラインストレージからジョブを作成するには以下の手順に従います。

- (1) ジョブ作成のページに移動します。
- (2)「オンラインストレージから追加する」ボタンをクリックします。



- (3) 接続先(上記手順で設定したコネクター)を選び、対象のファイルを選択します。
- (4) オンラインストレージからジョブを作成すると、「ダウンロード」に「オンラインストレージにエクスポートする」という項目が追加されます。これを選択すると、ファイルを取得したフォルダに「設定/サーバー設定/ファイル名の変更」の規則に応じたファイル名で保存されます。

■ 外部ツールとの連携

Rozetta Phrase は各種の外部ツールと連携するためのコネクターを装備しています。 エディション別の連携外部ツールについては以下のページを参照します(Phrase 社の英文ヘルプ記事)。 https://support.phrase.com/hc/en-us/articles/5709656492572-Integrations-TMS-

■ 2段階認証

2 段階認証とは、アカウントにログインする際に通常のユーザー名とパスワードに加えて、もうひとつ別の認 証コードを必要とする仕組みです。万が一パスワードが漏洩した場合でもアカウントを安全に保てる機能 であり、Google や Amazon など様々なサービスで導入されています。

この2段階認証をRozetta Phraseでもオプションとして利用できます。タイムベースワンタイムパスワード (TOTP)と呼ばれるテクノロジーを用いており、毎回のログイン時に事前に登録したスマートフォンなどの アプリで生成されるコードの入力が必要になります。コードの生成には、「Google Authenticator」や 「Authy」などの任意の認証アプリをお使いいただけます。紛失などに備えて複数のデバイスを登録しておく ことも可能です。

この機能を有効にすると、Rozetta Phrase だけでなく、Desktop エディタを開いた際にもコードの入力 が求められます。

2 段階認証を設定するには、以下の手順に従います。

- (1) Google Authenticator などの認証アプリをスマートフォンなどのデバイスにダウンロードします。
- (2) 設定メニューの「ユーザー設定」の下にある「2 段階認証」をクリックします
- (3) 認証アプリで QR コードをスキャンします。QR コードの代わりに秘密鍵が表示される場合があります。 その際はアプリに秘密鍵を手入力してください。
- (4) アプリが生成した数字のコードを「Code」欄に入力して「Verify」をクリックします

以上の手順により、お使いの Rozetta Phrase アカウントが認証アプリと接続されます。これ以降、ログインする度にアプリが自動生成するコードの入力が必要になります。

ヒント: Google アカウントをログインに使用しているユーザーは Rozetta Phrase の 2 段階認証はご利用になれません。Google の 2 段階認証については以下のサイトを参照します(Google 社の日本語サイト)。

https://www.google.com/landing/2step/